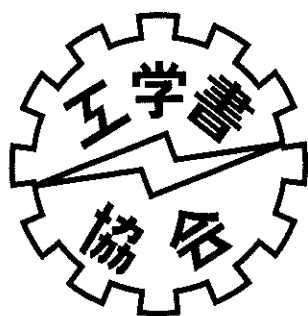


工学書協会 60 年史

(50 年史追録版)



工学書協会

ごあいさつ

工学書協会幹事長 南條 光章

工学書協会は2008年12月10日をもちまして、60周年を迎えることができました。これもひとえに、60年前の協会発足から今日まで協会活動を支えていただいております会員社各位、常日頃よりご協力をいただいております販売会社各位、書店各位と関連事業所の皆さまのお陰と衷心より厚く御礼申し上げます。

工学書協会では周年にはそれぞれ年史を発刊してその時々々の協会活動、業界の動きをまとめてまいりました。60周年にあたりまして、50年史以降の10年史をここに上梓いたしました。ご覧賜りますれば幸いです。

50周年から60周年にかけての10年間は、出版業界の売上げが毎年、前年割れを起こすというたいへん厳しい10年でありました。そのような販売状況のなか、協会では活動の柱であります常備特約店選定、特選セット販売と工学書目録販売を中心としました販売活動と、常備特約店との研修、地方書店研修の研修会活動を実施してまいりました。それぞれの販売活動は微減少で推移いたし、また常備特約店との研修もその実を挙げることができた反面、工学書の売上げは業界同様に低調でありました。一方で、この10年はネット書店に代表されるようにインターネット販売が着実に浸透して、販売チャンネルが拡大した10年でもありました。さらには、デジタル化の波が速い速度で社会全体に浸透して、出版に対する意義が変容しつつあった10年でもありました。

今後の協会活動は、従来からの販売活動をさらに充実しつつも、デジタル化を強く意識して変革すべきは変革して協会活動を推進していかなければなりません。そして、今後の10年が協会にとって着実な成果が上がる10年になるべくしっかりと活動ができる目標を掲げて邁進してまいりたいと存じます。

出版の質と責任がますます問われる時代を迎えることになるかと存じますが、26社の会員社あげて難局を乗り切って行きたいと思っております。ここに、従前にも増して販売会社、書店、会員各社三位一体の協力体制を切にお願い申し上げます次第であります。

10年史を上梓するにあたり、これまでの御礼と引き続きましてのご協力、ご支援をお願い申し上げます。ごあいさつといたします。

2009年2月25日

目 次

ごあいさつ（工学書協会幹事長 南條光章）	3
平成 11 年～平成 20 年活動記録	5
歴代代表者・例会出席者名簿	50
工学書協会会則	52
工学書協会各委員会所属一覧（平成 20 年度）	54
会員社紹介	55



平成 11 年～平成 20 年活動記録

- *会場は、特記なき場合、工学書協会会議室。
- *会合の出席者数は、資料により誤差があり、いずれかの資料の数値を採用した。
また、資料で確認できない場合は、省略したことがある。
- *幹事会その他の会合では、委員会報告等定例の報告があるが、誌面の都合上、
新規事項を中心に採録した。
- *各委員会の開催記録は、特別の決定事項がある場合を除き省略した。



平成 11 年 (1999 年)

1 月

●例会 (12 日)

- ・幹事選挙により、新幹事 6 名を選出

関谷勉氏 (井上書院)、中川六郎氏 (オーム社)、佐藤清俊氏 (共立出版)、保井秀夫氏 (裳華房)、山口雅己氏 (東京大学出版会)、原野勉氏 (東京電機大学出版局)

※ただし、原野氏が大学内の諸事情により辞退、吉本健三氏 (工業調査会) を選出

●「工学書目録 (1999 年版)」刊行

- 例会出席者変更 (オーム社：村井博氏より中川六郎氏へ、海文堂出版：石橋正寛氏より中原俊二氏へ、共立出版：佐藤雅明氏より佐藤清俊氏へ、技報堂出版：吉富清人氏より鈴木正春氏へ、丸善：安田惇氏より大石康博氏へ)

- 代理出席者変更 (海文堂出版：中原俊二氏より伊達忠志氏に、共立出版：佐藤清俊氏より染谷明氏へ、技報堂出版：鈴木正春氏より吉富清人氏へ)

2 月

●会計監査 (4 日)

●例会 (日本出版クラブ会館/12 日)

●定例総会 (日本出版クラブ会館/12 日)

- ・平成 10 年度決算報告・会計監査報告

- ・新幹事の発表および承認

- ・山本泰四郎幹事長、志村幸雄副幹事長退任挨拶

- ・新幹事の協議により、佐藤政次氏 (オーム社) に幹事長就任を要請

- ・新幹事長の推薦を受け、副幹事長に南條光章氏 (共立出版)、会計監事に渡辺武彦氏 (アグネ承風社)・深山恒雄氏 (丸善)、幹事長推薦幹事に菊地俊夫氏 (日刊工業新聞社)・西山政徳氏 (森北出版) が就任

- ・平成 11 年度予算案の報告および承認

- ・各委員会委員長長の発表

第一販売委員会：委員長中川氏 (オーム社)、副委員長菊地氏 (日刊工業新聞社)

第二販売委員会：委員長佐藤氏 (共立出版)、副委員長山口氏 (東京大学出版会)

第三販売委員会：委員長吉本氏 (工業調査会)

第四販売委員会：委員長西山氏 (森北出版)

目録広報委員会：委員長関谷氏 (井上書院)

総務委員会：委員長保井氏 (裳華房)

- ・懇親会

3月

●幹事会（12日）

- ・佐藤幹事長より、協会運営の三本柱として下記の事項が示される
 1. 工学書協会のよき慣習を尊重し、継承し運営すること
 2. 販売責任者の会である工学書協会の時代に対応する活性化の考究
 3. 代表者会の尊重と例会出席者の活動しやすい環境作り
- ・事務局滝内明氏の活動環境を整えるため、「事務局長」の名称を使用することとする
- ・書店研修会について
 1. 日程は7月8～10日を予定
 2. 広島、名古屋、また震災後の復興が進む神戸～鳴門大橋、徳島～瀬戸大橋～岡山を候補として検討したが、神戸・徳島地区を予定する
- ・自然科学書協会出展委員会より、「東京国際ブックフェア99」に「工学書目録」提供の依頼があり、各分野200部を用意

●例会（12日）

●販売会社対象「特選セット」説明会（15日）

●新規常備協力店販売会社説明会（19日）

●例会出席者変更（産業図書：奈良香治氏より米川慎一氏へ）

●代理出席者変更（産業図書：米川慎一氏より江面竹彦氏へ、日刊工業新聞社：西海郁夫氏より玉村秀男氏へ）

4月

●幹事ミーティング（6日）

●「工学書目録（2000年版）」編集会議（日販本社/7日）

●幹事会（日本出版クラブ会館/9日）

- ・常備協力店選定結果の報告（選定基準：受託社数8社・1000冊）
- ・「特選セット」に関する報告
- ・研修旅行の旅程表検討

●例会（日本出版クラブ会館/9日）

●常備協力店選定会議（日本出版クラブ会館/9日）

- ・常備協力店430店【以下、店舗数は「全国常備協力店名簿」巻末の表による】

- ・懇親会（出席者：協会関係者103名、販売会社38名、計141名）

●工学書目録刊行感謝の会（出席者：協会関係者16名、日販8名、計24名）（平河町・ひさご/15日）

●例会出席者変更（誠文堂新光社：清水敏氏より古賀裕吉朗氏へ）

5月

●幹事会（10日）

- ・「理工学図書新刊ニュース」（5月号）に、本年の常備協力店名（新規店）を掲載

・本年より「常備店名簿」に書店コードおよび会員社のURLを入れることとする

●例会（10日）

●代表者懇親ゴルフ会（狭山ゴルフクラブ/25日）

●代理出席者変更（アスキー：三田秀雄氏より永島伸幸氏）

6月

●幹事ミーティング（4日）

●幹事会（10日）

・かねて懸案の「理工学書新刊ニュース」・各目録類の配本先データを、日販・トーハンともに入手できた（事務局にて保管し、希望者は事務局長に申し出るよう告知する）

・書店研修会について

共栄エージェンシー市川氏より提案の、研修旅行に合わせた兵庫・岡山・香川・徳島地区販売支援広告について、会員社全社が出稿することを前提に、神戸新聞に掲載決定

●例会（10日）

・JBC島山氏による須坂共同倉庫説明会

●代表者変更（丸善：深山恒雄氏より松嶋徹氏へ）

7月

●書店研修会（8～10日）

・参加者：会員社25社27名、販売会社ほか5名、計32名

・神戸・徳島・高松・岡山地域の16店舗を訪問

・宮脇書店社長講演会（高松/9日）

●幹事会（27日）

・「工学書目録（2000年版）」について

「化学」目録の末尾に「環境」項目を入れることとし、中項目・小項目の分類案を作成（コード表を一部刷り直すことで対応）

・書店研修会について

神戸新聞への広告掲載については、31社すべてから了解を得た

「理工学書新刊ニュース」の注文活動を行い、12書店155部の成果があった

・会計監事について、丸善・深山氏の後任の松嶋徹氏に就任を要請（次回総会まで「代理」）

・学校図書館整備推進会議に対し、脱会届を提出

●例会（28日）

・阪急ブックファースト渋谷店生井氏ほかより、開店1周年の挨拶と報告

●例会出席者変更（コロナ社：西村泰敏氏より齊藤真一郎氏へ）

●代理出席者変更（コロナ社：齊藤真一郎氏より秋濱直治氏へ、東京電機大学：嶋田努氏）

8月

●上期会計監査（9日）

- 幹事会 (31日)
- ・研修旅行アンケート集計
- ・幹事会暑気払い

9月

- 幹事会 (9日)
- 例会 (9日)
- 特選セット感謝の会 (出席者：協会関係者14名、販売会社22名、計36名) (ホテルグランドパレス/14日)
- 西工会 (大和根カントリークラブ/17日)
- 幹事ミーティング (30日)
- ・代表者会の日程、運営、各委員会準備書類
- ・工学書目録に、資格試験関連図書目録を加える
- 代表者変更 (省エネルギーセンター：森信昭氏より橋本城二氏へ)

10月

- 幹事会 (6日)
- ・代表者会で、各委員会「今年度の経過報告と今後の活動方針および来年度の活動と予算」発表
- 例会 (6日)
- 代表者会・同懇親会 (出席者：29社29名) (神田錦町・然/27日)
- 代理出席者変更 (日科技連出版社：塩田峰久氏より丸山芳雄氏へ)

11月

- 幹事会 (10日)
- 例会 (10日)
- 例会出席者変更 (アスキー：宮川洋氏から松本浩氏へ)

12月

- 幹事会 (箱根湯本・紫雲荘/3日)
- 例会 (箱根湯本・紫雲荘/3日)
- 忘年懇親会 (出席者：協会関係者43名、販売会社ほか13名、計56名) (箱根湯本・紫雲荘/3~4日)
- 幹事ミーティング (21日)
- 例会出席者変更 (工業調査会：吉本健三氏より斉藤亮氏へ)
- 代理出席者変更 (オーム社：角田正寿氏より斉藤康行氏へ、工業調査会：斉藤亮氏より高城献氏へ)

平成 12 年 (2000 年)

1 月

- 「理工学図書新刊ニュース」の表紙が2色刷りとなる
- 「工学書目録 (2000 年版)」刊行 (表紙が2色刷りとなる)
- 幹事会 (オーム・ゼミルーム/13 日)
 - ・「環境図書目録」の完成にともない、本年は、第一・第二販売委員会の連携プロジェクトチームでフェアを実施する
 - ・特選セット関係の業務委託費改定 (日教販と「覚書」を取り交わす)
 - ・第三販売委員会委員長に、山口幹事 (東京大学出版会) が就任
- 例会 (オーム・ゼミルーム/13 日)
 - ・片岡氏来会、「TS 流通協同組合」の概要説明
- 新年懇親会 (出席者: 協会関係者 34 名、販売会社 10 名、計 44 名) (オーム・ゼミルーム/13 日)
 - ※従来、日科技連出版社の「賀詞交換会」と連携で行ってきたが、本年より、協会の独自行事として開催

2 月

- 会計監査 (1 日)
- 幹事ミーティング (2 日)
- 幹事会 (日本出版クラブ会館/15 日)
 - ・特選セット: 本年より ISO 関連書籍を「②コンピュータ・情報」「⑤科学/化学工学」に組み入れることを決定
 - ・地方書店研修会: 7 月 6~8 日、訪問地区を広島・松山に決定
- 例会 (日本出版クラブ会館/15 日)
- 定例総会 (日本出版クラブ会館/15 日)
 - ・平成 11 年度決算報告・会計監査報告
 - ・会計監事に松嶋徹氏 (丸善) が就任
 - ・平成 12 年度予算案の報告および承認
 - ・懇親会
- 代理出席者変更 (アスキー: 永島伸幸氏より池田一樹氏へ)

3 月

- 幹事会 (10 日)
 - ・フェアのワーキンググループメンバーを下記 6 名に決定
第一販売委員会: 菊地俊夫氏 (日刊工業新聞社)、田中健氏 (日科技連出版社)、大石康博

氏（丸善）

第二販売委員会：佐藤清俊氏（共立出版）、斉藤亮氏（工業調査会）、米川慎一氏（産業図書）

●例会（10日）

・cbook24.com 中藤氏より、会社の概要説明

●新規常備協力店販売会社説明会（17日）

●販売会社対象「特選セット」説明会（22日）

●退会（大日本図書）

4月

●幹事会（日本出版クラブ会館/7日）

・本年より、「常備協力店」の名称を「常備店」と改め、「工学書協会センター店」20店を設置することを決定

●例会（日本出版クラブ会館/7日）

●常備店選定会議（日本出版クラブ会館/7日）

・常備店 398店（内センター店 20店）

・懇親会（出席者：協会関係者 99名、販売会社 35名、計 134名）

●工学書目録刊行感謝の会（出席者：協会関係者 13名、日販 8名、計 21名）（新宿・玄海/13日）

●代表者変更（東京電機大学出版局：原野勉氏より長江光男氏へ）

●例会出席者変更（東京電機大学出版局：原野勉氏より長江光男氏へ）

●代理出席者変更（東京電機大学出版局：嶋田努氏より田丸健一郎氏へ）

5月

●幹事会（10日）

・協会幹事の公式名刺を作成

・書店研修支援広告について、これまで協栄エージェンシーを介し実施してきたが今後は協会の自主企画として行うこととし、本年は中国新聞に掲載決定

・下記3点を特色とする「工学書目録（2001年版）」予算額が日販より提示された

1. 「理工・技術系資格試験関連図書目録」の新規刊行
2. これまで手作業で行ってきた「索引（書名）」の作成をコンピュータ化
3. 日販に対する「目録製作協力金」の予算化

●例会（10日）

●代表者懇親ゴルフ会（狭山ゴルフクラブ/24日）

●例会出席者変更（東京電機大学出版局：長江光男氏より田丸健一郎氏へ）

●代理出席者変更（東京電機大学出版局：田丸健一郎氏より嶋田努氏へ）

6月

●幹事会（9日）

●例会（9日）

・西村書店田中氏より、紀伊國屋書店の自動発注システム（常備寄託廃止）の説明

●代理出席者変更（実教出版：小林祥浩氏より齊藤幸雄氏へ）

7月

●幹事会（4日）

・「理工学図書新刊ニュース」を、今月号より各センター店・常備店に送付開始、初回となる
今回は、協会ステッカーもあわせて配布

・書店研修支援広告の掲載日を、現地訪問日にあわせ6日に決定

●書店研修会（6～8日）

・参加者：協会関係者25社27名、販売会社ほか6名、計33名

・広島・松山の15店舗を訪問

・合同研修会・午餐会（書店・販売会社支店出席者16名）（広島/7日）

①工学書販売の現況と動向、②棚担当者の育成、③オンライン発注・販売、につき意見交換

●例会出席者変更（コロナ社：齊藤真一郎氏より秋濱直治氏へ）

●代理出席者変更（コロナ社：秋濱直治氏より中原鉄弥氏へ）

8月

●上期会計監査（2日）

●幹事会（22日）

・関東の特選セット購入店より10店舗を選び、欠本調査およびアンケートを実施

・協会ホームページのドメイン名を「kogakusho.com」と決定【取得は2006.11】

・幹事会暑気払い

●例会（23日）

9月

●幹事会（12日）

・協会ホームページの開設に向け、特別プロジェクトチームを設置

メンバー：榎木大祐氏（アスキー）、関谷勉氏（井上書院）、保井秀夫氏（裳華房）、山口雅己氏（東京大学出版会）、田丸健一郎氏（東京電機大学出版局）、田中健氏（日科技連出版社）、西山政徳氏（森北出版）、太田栄一氏（理工図書）

●例会（12日）

・Amazon.com.Inc. との和書販売取引の開始にあたり、大阪屋より山本氏・秋山氏、Amazon Japan より2名来会、趣旨説明を受ける

●特選セット感謝の会（出席者：協会関係者13名、販売会社22名、計35名）（ホテルグランドパレス/14日）

●代表者会・同懇親会（出席者：26社26名）（神田神保町・新世界菜館/27日）

- 西工会（大根根カントリークラブ/28日）
- 例会出席者変更（アスキー：松本浩氏より征木大祐氏へ、日刊工業新聞社：菊地俊夫氏より増井勉氏へ）
- 代理出席者変更（アスキー：池田一樹氏より松平篤氏へ）

10月

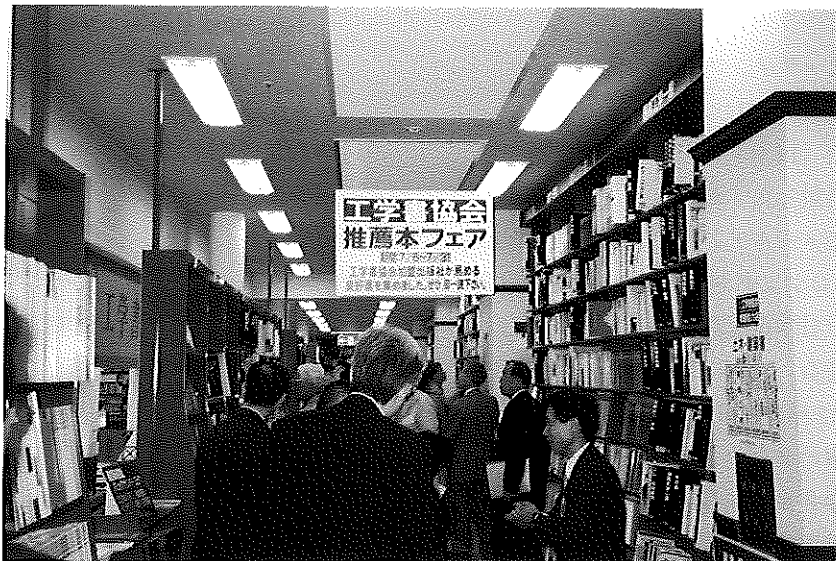
- 幹事会（10日）
 - ・「理工・技術系資格試験図書目録」掲載件数確定（1256点）
- 例会（10日）
- 第1回ホームページ開設特別プロジェクトチーム会合（14日）
 - ・西山幹事（森北出版）をチーム責任者とする

11月

- 幹事会（9日）
 - ・理工学図書新刊ニュースの返品問題
- 例会（9日）

12月

- 幹事会（1日）
- 例会（1日）
- 忘年懇親会（出席者：協会関係者47名、販売会社19名、計66名）（新宿・玄海/1日）
- 幹事ミーティング（18日）
 - ・幹事忘年会



書店研修会（平成12年） 広島・紀伊國屋書店

平成 13 年 (2001 年)

1 月

- 幹事会 (オーム・ゼミルーム/12 日)
 - ・2001 年度工学書目録の注文部数は、今年から資格試験図書目録を新規に立ち上げたが、対前年比微減と厳しい
- 例会 (オーム・ゼミルーム/12 日)
 - ・幹事選挙により、新幹事 6 名を選出
関谷勉氏 (井上書院)、中川六郎氏 (オーム社)、染谷明氏 (共立出版)、保井秀夫氏 (裳華房)、大石康博氏 (丸善)、西山政徳氏 (森北出版)
 - ・新幹事の協議により、佐藤政次氏 (オーム社) に幹事長就任を要請
- 新年懇親会 (出席者: 協会関係者 33 名、販売会社 12 名、計 45 名) (オーム・ゼミルーム/12 日)
- 臨時幹事会 (オーム社 9 階会議室/22 日)
 - ・推薦幹事・会計監事について協議
- 「工学書目録 (2001 年版)」刊行
- 代表者変更 (誠文堂新光社: 瀧田実氏より小川雄一氏へ)
- 例会出席者変更 (共立出版: 佐藤清俊氏より染谷明氏へ、東京大学出版会: 山口雅己氏より吉田信夫氏へ)
- 代理出席者変更 (共立出版: 染谷明氏より藤本公一氏へ、日科技連出版社: 丸山芳雄氏より塩田峰久氏へ)

2 月

- 幹事ミーティング (5 日)
- 会計監査 (6 日)
- 幹事会 (14 日)
 - ・昨年新設した「センター店」との連携強化を柱とし、予算措置をとる
 - ・協会のメールアドレスを、NTT の OCN と契約
 - ・HP プロジェクトチームを再編し、より一層の推進を図る
- 例会 (日本出版クラブ会館/15 日)
- 定例総会 (日本出版クラブ会館/15 日)
 - ・平成 12 年度決算報告・会計監査報告
 - ・新幹事の発表および承認
 - ・新幹事代表の関谷氏から、幹事長に佐藤政次氏 (オーム社、再任)、会計監事に渡辺武彦氏 (アグネ承風社、再任)・松嶋徹氏 (丸善、再任) が推薦され、承認
 - ・新幹事長の推薦を受け、副幹事長に南條光章氏 (共立出版、再任)、幹事長推薦幹事に澤崎

明治氏（市ヶ谷出版社）・増井勉氏（日刊工業新聞社）が就任

・各委員会委員長の発表

第一販売委員会：委員長中川氏（オーム社）、副委員長大石氏（丸善）

第二販売委員会：委員長染谷氏（共立出版）、副委員長澤崎氏（市ヶ谷出版社）

第三販売委員会：委員長増井氏（日刊工業新聞社）

第四販売委員会：委員長西山氏（森北出版）

目録広報委員会：委員長関谷氏（井上書院）

総務委員会：委員長保井氏（裳華房）

・平成13年度予算案の報告および承認

・懇親会

●第二販売委員会（19日）

・「工学書協会特選セット」に新たに「資格試験」セットを加える

・「コンピュータ/情報/経営」にISO（国際規格）を組み入れる

●例会出席者変更（彰国社：小林重勝氏より望月達夫氏へ）

●代理出席者変更（彰国社：高坂絃一氏より小島祐二氏へ）

3月

●幹事会（9日）

・書店研修：7月12日より2泊3日で、福岡・長崎・佐賀・久留米の訪問を予定

●例会（9日）

●新規常備店販売会社説明会（16日）

●代表者変更（日科技連出版社：坪和輝英氏より小山薫氏へ）

4月

●幹事会（9日）

・工学書目録を、常備店1セット、センター店5セットを販売会社の協力により、無料配布する

・コンピュータの新機種導入について、COMPAQに決定

●例会（日本出版クラブ会館/10日）

●常備店選定会議（日本出版クラブ会館、10日）

・常備店380店（内センター店23店）

・懇親会（出席者：協会関係者89名、販売会社37名、計126名）

●「工学書目録（2002年版）」編集会議（日販本社/17日）

5月

●幹事会（9日）

・工学書協会常備店ステッカーに年度を入れることとする

・センター店のメリット対応策として、「東京研修会」を開催することとする（幹事会・第一

販売委員会で実行委員会を構成)

- ・書店研修会の名称は「平成13年度書店訪問研修会」、討議テーマは「工学書販売活性化のための戦略」とする
- ・書店訪問研修会の支援広告を西日本新聞に掲載決定
- ・会員社との連絡にメール使用開始
- 例会(9日)
- 工学書目録刊行感謝の会(出席者:協会関係者16名、日販7名、計23名)(両国・亀清楼/9日)
- 工学書協会懇親ゴルフ会(狭山ゴルフクラブ/24日)
- 東京研修会第1回実行委員会(25日)
 - ・委員会体制・実行1次案の検討
- 代理出席者変更(森北出版:河合一氏より水垣偉三夫氏へ)

6月

- 幹事会(6日)
 - ・特選セットの最終集計(新規に資格試験を加えてなお大幅減少という状況を踏まえ、会員社・書店の意見を聞き、来年度の販売計画は根本的に考え直す必要が生じる)
 - ・書店訪問研修の参加者確認(参加者数が減少)
 - ・東京研修会実行委員会の委員長は中川幹事、副委員長は染谷幹事に決定
- 例会(6日)
- 東京研修会第2回実行委員会(6日)
 - ・事前調査内容と分担を検討
- 東京研修会第3回実行委員会(26日)
 - ・事前調査結果、アンケート結果の分析・検討
- 例会出席者変更(アスキー:榎木大祐氏より松本浩氏へ)

7月

- 幹事会(10日)
 - ・東京研修会への書店出席は首都圏のみ2名まで認める/セミナー(講演会)のテーマは「元気な店づくり、店頭棚づくり」とする
- 書店訪問研修会(12~14日)
 - ・参加者:会員社23社25名、販売会社4名、計29名
 - ・長崎・佐賀・久留米・福岡の13店舗を訪問
 - ・合同研修会・懇親会(書店・販売会社支社出席者11名)(福岡/13日)
 - 棚分類と担当者育成、協会常備と新刊配本、ウェブ書籍販売への対抗策、他につき意見交換

8月

●東京研修会第4回実行委員会(8日)

- ・最終案を作成し、実行にあたって4WG(総務、講演、グループミーティング、懇親会)を編成して当日までの作業を分担し、招待状を発送

●上期会計監査(17日)

●幹事会(21日)

- ・書店訪問研修会の「書店別アンケート」と「研修会全体のアンケート」の集計作業が終わる
- ・工学書目録の販売促進(ネット上での販売)のため、来年度からISBNコードを付与する
- ・東京研修会・講演会の講師を能勢仁氏に決定

●例会(21日)

9月

●東京研修会第5回実行委員会(4日)

- ・当日運営の最終確認
- ・グループミーティングの議題は「新刊展示と販売方法」を主テーマとして、書店には「私の棚づくり」で自己紹介してもらう
- ・招待者に渡す資料:常備店名簿、理工学図書新刊ニュース、センター店出席者名簿、協会出席者名簿、能勢氏講演のレジュメ他、グループミーティングのグループ割名簿、西日本新聞広告のコピー等

●幹事会(6日)

●例会(6日)

●特選セット感謝の会(出席者:協会関係者13名、販売会社22名、計35名)(ホテルグランドパレス/6日)

●工学書協会東京研修会(日本出版クラブ会館/11日)

- ・出席者:協会関係者30社32名、書店21店22名、販売会社4名、業界紙(取材)4社4名、計62名
- ・開催目的:工学書協会会員各社の商品を工学書協会センター店に1冊でも多く販売していただく/工学書協会の活動をより一層理解していただく/協会担当者との懇親を深める
- ・I部 幹事長挨拶(佐藤幹事長)
センター店のご案内(中川実行委員長)
講演「元気な店作り、店頭棚作り」(講師 能勢仁氏)
- II部 グループミーティング(4グループに分かれる)
- III部 懇親会
幹事長挨拶(佐藤幹事長)
乾杯(紀伊国屋書店新宿本店 小倉隆生氏)
出席者からの1分間スピーチ
中締め(南條副幹事長)

●西工会(大根根カントリークラブ/13日)

- 幹事ミーティング（18日）
- 代表者会・同懇親会（出席者：25社25名）（両国・亀清楼/28日）

10月

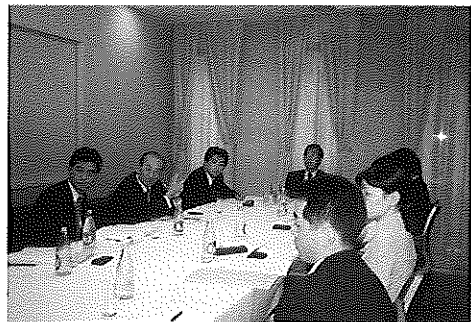
- 幹事会（5日）
 - ・東京研修会参加のセンター店には、幹事長、副幹事長、実行委員会のあいさつ文とミーティング記録、写真、業界紙掲載記事のコピーを同封し送る
- 例会（5日）
 - ・特選セットの厳しい状況について意見交換
 - ・東京研修会について意見交換
- 幹事ミーティング（29日）
 - ・東京研修会反省会を行い、その記録を実行委員会の総括とする
 - ・平成14年度予算案討議
- 代表者変更（工学図書：川村悦三氏より笠原隆氏へ）

11月

- 幹事会（9日）
 - ・東京研修会実行委員会総括会議の報告
 - ・東京研修会を定例行事とする発案（同研修会は定例化し柱の行事とすることで、協会活動のメリットになる）
 - ・理工学図書新刊ニュースの分類分けを工学書目録と理学書目録に連動させる
 - ・工学書目録の印刷部数は特選セット購入書店に買ってもらう（無料配布も含め）など、有効活用の方策を検討することで、対前年より増やすこととする
 - ・日販につづき、大阪屋、太洋社、協和の各社の広報誌に、工学書目録の広告を無料掲載してもらうことになった
- 例会（9日）
- ホームページ準備委員会（14日）

12月

- 幹事会（箱根湯本・ホテルおくゆもと/7日）
 - ・東京研修会での書店からの要望を幹事会で検討する必要（18日にミーティング）
 - ・ホームページの問題点が指摘される（メンテナンス、工学書目録のデータ使用、著作権、管理費、時代の移り変わり等、クリアしなければならぬ諸問題が山積みになっている）
 - ・工学書目録の受注状況の報告
- 例会（箱根湯本・ホテルおくゆもと/7日）
- 忘年懇親会（出席者：協会関係者41名、販売会社ほか12名、計53名）（箱根湯本・ホテルおくゆもと/7～8日）
- 幹事ミーティング（18日）



東京研修会（平成 13 年）



書店訪問研修会（平成 14 年）
左：仙台・金港堂、上：弘前・紀伊國屋書店

平成 14 年 (2002 年)

1 月

- 幹事会 (オーム・ゼミルーム/11 日)
 - ・昨年の東京研修会で書店から出された要望について、12 月 18 日の幹事ミーティングで議論した結果をふまえ、「スリップ分類・販売マニュアルワーキンググループ」を立ち上げる
- 例会 (オーム・ゼミルーム/11 日)
- 新年懇親会 (出席者：協会関係者 32 名、販売会社 10 名、計 42 名) (オーム・ゼミルーム/11 日)
- 第一販売委員会 (18 日)
 - ・センター店選定基準案の設定と見直しを行い (受託社数 24 社・8 割、冊数 7,000 冊)、新規センター店を選定
- フェア合同委員会 (24 日)
- 「工学書目録 (2002 年版)」刊行

2 月

- 会計監査 (1 日)
- 幹事会 (13 日)
 - ・「工学書協会特選セット」と表示した棚用プレートを作成し、注文書店に送る
 - ・書店訪問研修会：7 月 11～13 日、東北地域に決定
 - ・書店訪問研修会の支援広告を河北新報に掲載決定
 - ・「棚分類検討委員会」の設置
 - メンバー：松本浩氏 (アスキー)、関谷勉氏 (井上書院)、中川六郎氏 (オーム社)、岡部勝氏 (三共出版)、山川三世氏 (省エネルギーセンター)、望月達夫氏 (彰国社)
- 例会 (日本出版クラブ会館/15 日)
- 定例総会 (日本出版クラブ会館/15 日)
 - ・平成 13 年度決算報告・会計監査報告
 - ・平成 14 年度予算案の報告および承認
 - ・懇親会
- フェア合同委員会 (26 日)

3 月

- 幹事会 (8 日)
 - ・フェアについて、第一・第二合同委員会で検討し、協会 55 周年記念の位置づけで、2003 年秋にセンター店で開催することをめざし、具体化をすすめる
- 例会 (8 日)

- 新規常備店販売会社説明会（15日）
- 販売会社対象「特選セット」説明会（20日）

4月

- 幹事会（8日）
- 「工学書目録（2003年版）」編集会議（日販本社/9日）
- 第1回棚分類検討ワーキンググループ（12日）
委員長・関谷幹事、副委員長・中川幹事
- 工学書目録刊行感謝の会（出席者：協会関係者13名、日販8名、計21名）（両国・亀清楼、15日）
- 例会（日本出版クラブ会館/17日）
- 常備店選定会議（日本出版クラブ会館/17日）
・常備店372店（内センター店23店）
・懇親会（参加者：協会関係者93名、販売会社37名、計130名）
- フェア合同委員会（25日）

5月

- 第1回「工学書協会HP」データベース研究に関するワーキンググループ（4日）
メンバー：第四販売委員会、目録・広報委員会
- 幹事会（17日）
・東京研修会を本年度も実施する方向で検討する
・「理工学図書新刊ニュース」について、7月号より電子入稿とすることを決定
- 例会（17日）
- フェア合同委員会（23日）

6月

- 幹事ミーティング（6日）
- 幹事会（11日）
・東京研修会は、隔年で行うことを確認
- 例会（11日）
- フェア合同委員会（27日）
- 代表者変更（アスキー：鈴木憲一氏より小森哲郎氏へ、日刊工業新聞社：飯嶋光雄氏より三宅満氏へ）

7月

- 幹事会（9日）
- 地方書店訪問研修会（11～13日）
・参加者：会員社23社25名、販売会社ほか5名、計30名

・仙台・盛岡・青森地区の13店舗を訪問

●フェア合同委員会（24日）

8月

●幹事会（20日）

・棚分類については、4回の会合を経て、素案ができたので、今後、各社、書店の意見を聞いて最終案をまとめたい

●例会（20日）

●上期会計監査（27日）

●フェア合同委員会（30日）

●代表者変更（省エネルギーセンター：橋本城二氏より河野修一へ、東京大学出版会：山下正氏より大江治一郎氏へ）

●例会出席者変更（実教出版：山川正紘氏より齊藤幸雄氏へ）

9月

●特選セット感謝の会（出席者：協会関係者14名、販売会社20名、計34名）（ホテルグランドパレス/5日）

●幹事会（10日）

●例会（10日）

・イー・ショッピング・ブックス豊島氏・伊藤氏より、インターネット書籍販売の現状説明と協力依頼

●西工会（大根根カントリークラブ/18日）

●フェア合同委員会（20日）

10月

●幹事会（4日）

●例会（4日）

●代表者会・同懇親会（出席者：24社24名）（すがも田村/7日）

11月

●フェア合同委員会（6日）

●幹事会（8日）

・フェアについては、首都圏のセンター店を対象に、フェア合同委員会によるアンケート調査を実施、地方店についても11月中に調査を終了する予定

●例会（8日）

・旭屋書店武田氏、トーハン高倉氏・原沢氏・早川氏より、「旭屋書店札幌J Rタワー店」新規出店概要説明

12月

- 幹事会（6日）
- 例会（6日）
- 忘年懇親会（出席者：協会関係者43名、販売会社ほか16名、計59名）（浅草・草津亭/6日）
- 幹事ミーティング（13日）
 - ・幹事忘年会（20日）
- 棚分類検討ワーキンググループ（19日）
 - ・最終案とりまとめ
- フェア合同委員会（19日）
- 代表者変更（実教出版：横尾武輔氏より本郷充氏へ）



東京研修会（平成15年）

平成 15 年 (2003 年)

1 月

- 例会 (オーム・ゼミルーム/10 日)
 - ・幹事選挙により、新幹事 6 名を選出
澤崎明治氏 (市ヶ谷出版社)、中川六郎氏 (オーム社)、染谷明氏 (共立出版)、斉藤亮氏 (工業調査会)、望月達夫氏 (彰国社)、増井勉氏 (日刊工業新聞社)
 - ・新幹事の協議により、佐藤政次氏 (オーム社、再任) に幹事長就任を要請
 - ・新幹事長の推薦を受け、副幹事長に南條光章氏 (共立出版、再任)、会計監事に渡辺武彦氏 (アグネ承風社、再任)・松嶋徹氏 (丸善、再任)、幹事長推薦幹事に松本浩氏 (アスキー)・山本幸夫氏 (丸善) が就任
- 新年懇親会 (出席者: 協会関係者 32 名、販売会社 10 名、計 42 名) (オーム・ゼミルーム/10 日)
- 会計監査 (29 日)
- 幹事会 (29 日)
 - ・協会主催のフェアを行う
(実行委員会: 委員長斉藤幹事、副委員長山本幹事)
 - ・棚分類のマニュアルを作成する
(実行委員会: 委員長松本幹事、副委員長望月幹事)
 - ・地方書店研修と東京研修会を隔年実施とする (本年度は東京研修会)
(実行委員会: 委員長増井幹事、副委員長中川幹事・染谷幹事)
 - ・HP は継続調査
 - ・「協会概要」の改訂準備
 - ・忘年会は、隔年で東京・箱根で行う
 - ・学献社を休会扱いとし、総会に報告する (その後、会社解散により退会)
- 「工学書目録 (2003 年版)」刊行
- 例会出席者変更 (井上書院: 関谷勉氏より渡辺孝一氏へ、工学図書: 岩崎敬一郎氏より笠原隆氏へ、裳華房: 保井秀夫氏より江波戸重雄氏へ、横書店: 高野実氏より小倉正久氏へ、丸善: 大石康博氏より山本幸夫氏へ、森北出版: 西山政徳氏より吉松啓視氏へ、理工図書: 太田栄一氏より澤入均氏へ)
- 代理出席者変更 (オーム社: 斉藤康行氏より櫛田義則氏へ、工学図書: 小笠原光子氏へ、裳華房: 江波戸重雄氏より宮内耕次氏へ、横書店: 高野実氏へ、丸善: 山本幸夫氏より大塚幸生氏へ、森北出版: 水垣偉三夫氏から橋本賢治氏へ、理工図書: 澤入均氏より太田栄一氏へ)

2 月

- 例会 (日本出版クラブ会館/14 日)

●定例総会（日本出版クラブ会館/14日）

- ・平成14年度決算報告・会計監査報告
- ・新幹事の発表および承認
- ・幹事長、副幹事長、会計監事、幹事長推薦幹事の発表および承認
- ・各委員会委員長の発表
 - 第一販売委員会：委員長中川氏（オーム社）、副委員長斉藤氏（工業調査会）
 - 第二販売委員会：委員長染谷氏（共立出版）、副委員長松本氏（アスキー）
 - 第三販売委員会：委員長増井氏（日刊工業新聞社）
 - 第四販売委員会：委員長山本氏（丸善）
 - 目録広報委員会：委員長望月氏（彰国社）
 - 総務委員会：委員長澤崎氏（市ヶ谷出版社）
- ・平成15年度予算案の報告および承認
- ・懇親会

3月

- 幹事ミーティング（5日）
- フェア合同委員会（6日）
- 幹事会（11日）
 - ・本年のフェアについて、センター店23のうち7店での実施を決定
- 例会（11日）
- 新規常備店販売会社説明会（14日）
- 代表者変更（市ヶ谷出版社：宇野豊蔵氏より本郷充氏へ）

4月

- 幹事会（9日）
 - ・常備店選定結果の報告
 - ・特選セットの取引条件変更（1年長期へ）を了承
 - ・東京研修会の日程・会場決定（9月12日、日本出版クラブ会館）
- 例会（日本出版クラブ会館/16日）
- 常備店選定会議（日本出版クラブ会館/16日）
 - ・常備店355店（内センター店23店）
 - ・懇親会（出席者：協会関係者95名、販売会社40名、計135名）
- 「工学書目録（2004年版）」編集会議（日販本社/17日）
- 棚分類ワーキング委員会（24日）
- 工学書目録刊行感謝の会（出席者：協会関係者15名、日販7名、計22名）（西麻布・権八/24日）
- 代表者変更（産業図書：江面竹彦氏より飯塚尚彦氏へ）
- 例会出席者変更（東京電機大学出版局：田丸健一郎氏より石平晋一郎氏へ）

- 代理出席者変更（産業図書：江面竹彦氏より奈良香治氏へ、東京電機大学出版局：嶋田努氏より木場将彦氏へ、日科技連出版社：塩田峰久氏より塚本一美氏へ）

5月

- 幹事会（8日）
- 例会（8日）
- 東京研修会第1回実行委員会（幹事会・第三販売委員会）（8日）

6月

- 工学書協会懇親ゴルフ会（我孫子ゴルフ倶楽部/3日）
- 東京研修会第2回実行委員会（9日）
- 幹事会（10日）
 - ・東京研修会：講演会、グループミーティング、全体会議（棚分類の説明など）を骨子とする
 - ・フェア出品の選書リスト 1677点
 - ・棚分類につき、土木・建築書協会およびコンピュータ出版販売研究機構に対し、協会としての趣旨説明を行った
- 例会（10日）
- 代表者変更（日刊工業新聞社：三宅満氏より菅野亮一氏へ）

7月

- 東京研修会第3回実行委員会（1日）
- 幹事会（10日）
 - ・東京研修会実行委員長代行に、中川幹事（オーム社）が就任
- 例会（10日）
- 例会出席者変更（日刊工業新聞社：増井勉氏より玉村秀男氏へ）
- 代理出席者変更（アスキー：松平篤氏より宮垣英樹氏へ、日刊工業新聞社：玉村秀男氏より関根修氏へ）

8月

- 上期会計監査（5日）
- 幹事会（20日）
 - ・第三販売委員長代行に、澤崎幹事（市ヶ谷出版社、兼任）が就任
- 例会（20日）

9月

- 特選セット感謝の会（出席者：協会関係者14名、販売会社21名、計35名）（ホテルグランドパレス/4日）
- 東京研修会第4回実行委員会（8日）

●幹事会（10日）

- ・幹事（第二販売委員長、東京研修会実行副委員長）代行に、岩下孝男氏（共立出版）が就任
- ・協会55周年フェアを、紀伊國屋新宿本店、三省堂神田本店、ジュンク堂池袋本店、同三宮店で開催中

●例会（10日）

●工学書協会東京研修会（日本出版クラブ会館/12日）

- ・出席者：協会関係者32名、書店20店25名、販売会社5社5名、講師1名、計63名
- ・I部 幹事長挨拶（佐藤幹事長）
「棚分類活用マニュアル」説明会
- II部 講演「書店ルネッサンス 一顧客を呼ぶ演出」
（講師 ニッテン設計事務所長八百一喜氏）
- III部 グループミーティング（4グループに分かれる）
- IV部 懇親会（出席者：計98名）
幹事長挨拶（佐藤幹事長）
乾杯（三省堂書店神田本店 横田知伸氏）
中締め（南條副幹事長）

●幹事ミーティング（19日）

●西工会（大根根カントリークラブ/25日）

●例会出席者変更（共立出版：染谷明氏より岩下孝男氏へ）

●代理出席者変更（共立出版：藤本公一氏より加藤敏博氏へ）

10月

●フェア実行委員会（6日）

- ・来期フェアの方針等につき検討を行う

●東京研修会総括会議（9日）

●幹事会（17日）

●例会（17日）

●代表者会・同懇親会（出席者：21社21名）（市ヶ谷・中国飯店/29日）

11月

●幹事会（10日）

- ・代表者会の承認を得て、岩下孝男氏（共立出版）、米川慎一氏（産業図書）が幹事就任
- ・新幹事選出に伴う担当変更
第二販売委員会：委員長岩下幹事、副委員長米川幹事
第三販売委員会：委員長松本幹事
- ・協会55周年フェアは、八重洲ブックセンターで年内は完了

●例会（10日）

●棚分類ワーキング委員会（27日）

●例会出席者変更（日科技連出版社：田中健氏より真鍋智哉氏へ）

●代理出席者変更（海文堂出版：伊達忠志氏より小坂啓之氏へ）

12月

●幹事会（湯河原・おんやど恵/5日）

●例会（湯河原・おんやど恵/5日）

●忘年懇親会（出席者：協会関係者 33名、販売会社 10名、計 43名）（湯河原・おんやど恵/5～6日）

工学書協会 55周年フェア

2003年		2004年		2005年	
三省堂神田本店	9/1-9/30	ジュンク堂仙台店	9/1-9/30	京都大学生協ルネ店・桂店	8/15-9/23
ジュンク堂三宮店	9/1-10/31	フタバ図書 MEGA 店	9/1-9/30	丸善丸の内本店	9/1-9/28
紀伊國屋新宿本店	9/5-10/5	丸善岡山シンフォニービル店	9/1-9/30	ジュンク堂池袋本店	9/1-9/30
ジュンク堂池袋本店	9/8-10/19	ジュンク堂池袋本店	10/1-10/31	旭屋名古屋ラシック店	9/1-9/30
丸善名古屋栄店	9/16-10/13	旭屋本店	10/1-10/31	ジュンク堂新宿店	10/1-10/31
ジュンク堂大阪本店	10/1-10/30	三省堂名古屋高島屋店	10/1-10/31	名古屋大学生協北部店	10/3-11/2
八重洲BC本店	10/12-11/8	ジュンク堂難波店	10/16-11/15	東京理科大学生協	12/1-1/31
		有隣堂本店	11/21-12/20		



地方書店研修（平成 16年）旭川・富貴堂

平成 16 年 (2004 年)

1 月

- 幹事会 (オーム・ゼミルーム/9日)
 - ・センター店の基準に関し、今後見直しをはかる方向
 - ・太洋社帳面の常備店を協会常備店として扱うというかねての課題につき、太洋社と協議し、選定資料の提出を求めた
 - ・地方研修会：7月8～10日、北海道（札幌・小樽・旭川など）に決定
- 例会 (オーム・ゼミルーム/9日)
- 新年懇親会 (出席者：協会関係者 30 名、販売会社 12 名、計 42 名) (オーム・ゼミルーム/9日)
- 「工学書目録 (2004 年版)」刊行
- 代表者変更 (近代科学社：櫻井亮志氏より櫻井慧子氏へ、実教出版：本郷充氏より島根正幸氏へ)

2 月

- 会計監査 (4日)
 - ・学献社の未収会費を会計処理
- 幹事会 (12日)
 - ・目録の現状と今後について検討するため、直近6年間のデータをまとめた
 - ・今年度のフェアは、9～10月を予定 (7店舗程度、テーマを絞りこむ)
- 例会 (日本出版クラブ会館/13日)
- 定例総会 (日本出版クラブ会館/13日)
 - ・平成 15 年度決算報告・会計監査報告
 - ・平成 16 年度予算案の報告および承認
 - ・懇親会
- 臨時幹事会 (18日)
- 例会出席者変更 (技報堂出版：鈴木正春氏より長範彦氏へ、誠文堂新光社：古賀裕吉朗氏より佐塚勝之氏へ)
- 代理出席者変更 (技報堂出版：長範彦氏より鈴木正春氏へ、誠文堂新光社：佐塚勝之氏より古賀裕吉朗氏へ)

3 月

- 幹事会 (10日)
 - ・本年度の特選セットの販売は、1年長期・平成 17 年 8 月末清算とする
 - ・「理工学図書新刊ニュース」の価格表示は、4月より「総額表示」にする

- ・昨年度実施の55周年フェアに関するアンケート調査結果を配布する
- ・棚分類活用マニュアルの最終製作物の仕様・配布方法などを再検討、作成部数を決定（「活用マニュアル」16ページ、「分類シート」A4判、各3,000部）
- ・文化産業信用組合より出資要請を受け、了承
- 例会（10日）
- 新規常備店販売会社説明会（12日）

4月

- 幹事会（7日）
 - ・センター店の抜本的見直しが必要（当面、ステッカー、名簿の特別表示を取りやめる）
- 例会（日本出版クラブ会館/9日）
- 常備店選定会議（日本出版クラブ会館/9日）
 - ・常備店363店（内センター店23店）
 - ・懇親会（参加者：協会関係者81名、販売会社48名、計129名）
- 「工学書目録（2005年版）」編集会議（日販本社、13日）
- 工学書目録刊行感謝の会（出席者：協会関係者14名、日販7名、計21名）（神田淡路町・萬代/22日）

5月

- 幹事会（10日）
 - ・「工学書目録（2005年版）」は、定価総額表示の方向で準備進行中
- 例会（10日）
 - ・丸善丸の内本店開店準備室斎藤氏・壺岐氏より、概要説明
- 代表者変更（彰国社：山本泰四郎氏より後藤武氏へ、近代科学社：櫻井慧子氏より塚本慶一郎氏へ）

6月

- 工学書協会懇親ゴルフ会（我孫子ゴルフ倶楽部/1日）
- 幹事会（10日）
 - ・フェア出品の選書リスト992点
- 例会（10日）
- 例会出席者変更（昭晃堂：信澤功氏より小林孝雄氏へ）
- 代表者変更（アスキー：小森哲郎氏より福田峰夫氏へ）

7月

- 「棚分類活用マニュアル」「棚分類簡素化プレート」完成
- 幹事会（5日）
 - ・今後の「工学書目録」のあり方について、委員会としての考えをまとめた

●例会（5日）

・日販帳合の新規店の書店説明（コーチャンフォーミュンヘン大橋店、WAYサンパルク店）

●地方書店研修（8～10日）

・参加者：会員社21社23名、販売会社ほか6名、計29名

・札幌・小樽・旭川地区の9店舗を訪問

・札幌研修会・昼食会（書店・販売会社支店12名出席）

自己（店舗）紹介、意見交換、棚分類活用マニュアルの説明

●上期会計監査（30日）

8月

●幹事会（20日）

●例会（20日）

●代表者変更（理工図書：柴山和夫氏より柴山斐呂子氏へ）

9月

●幹事会（10日）

・幹事・第三販売委員会委員長に、吉田信夫氏（東京大学出版会）が就任

・「棚分類活用マニュアル」配布数決定（例会で会員社に5部を進呈ほか）

●例会（10日）

・紀伊国屋書店札幌本店設立準備室皆川氏・伊藤氏より、店舗説明

●特選セット感謝の会（出席者：協会関係者13名、販売会社19名、計32名）（ホテルグランドパレス/10日）

・太洋社初参加

・販売会社出席者に「棚分類活用マニュアル」一式を贈呈

●西工会（大和根カントリークラブ/15日）

●代表者変更（日科技連出版社：小山薫氏より田中健氏へ）

●例会出席者変更（アスキー：松本浩氏より大澤武史氏へ、実教出版：斉藤幸雄氏より角田徹氏へ）

●代理出席者変更（実教出版：茂木哲也氏より秋元一馬氏へ）

10月

●幹事会（15日）

・紀伊国屋書店札幌本店設立準備室より、棚管理を「棚分類活用マニュアル」に沿って進めた
い旨の協力要請あり、第一販売委員会で対応

・9月より55周年フェア開始（今年度開催8センター店）

●例会（15日）

●代表者会・同懇親会（出席者：23社23名）（銀座アスター御茶ノ水賓館/27日）

●代表者変更（東京大学出版会：大江治一郎氏より山口雅己氏へ）

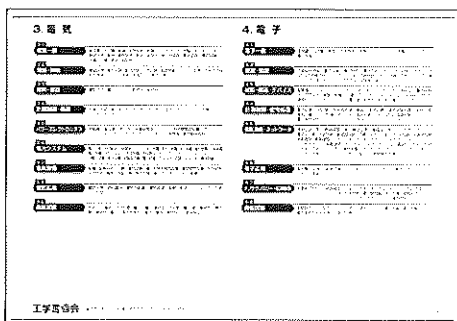
- 例会出席者変更（海文堂出版：中原俊二氏より小坂啓之氏へ）
- 代理出席者変更（海文堂出版：小坂啓之氏より中原俊二氏へ）

11月

- 幹事会（16日）
 - ・幹事代行に、櫛田義則氏（オーム社）就任
 - ・55周年フェア開催書店に御礼の品を送る（後日アンケート調査を行う予定）
 - ・常備店目録掲載社（232社）、優良特選セット購入店（144社）に対し、棚分類活用マニュアルを送付
- 例会（16日）
 - ・佐藤幹事長叙勲（「旭日小綬章」）の報告・祝辞と御祝品の贈呈
- 佐藤幹事長授章を祝う会（日本出版クラブ会館/26日）
- 例会出席者変更（オーム社：中川六郎氏より櫛田義則氏へ）
- 代理出席者変更（オーム社：櫛田義則氏より高田光明氏へ）

12月

- 幹事会（3日）
 - ・紀伊国屋書店札幌本店における棚分類データの集計を完了（12月6日に同店へ結果を送信、これに基づき、会員社に発注がなされる予定）
 - ・特選セットについて、現在7分類で行っているが、このうち「事典・用語集」を廃止して他の分類に振り分け、新たに「理学一般」（仮称）を追加する方向
 - ・来年度の太洋社取扱い特選セットは、口座がない会員社の商品については、①新たに口座を設ける、②特選セットのみ直接取引とする、のいずれれかとする方向
- 例会（3日）
- 忘年懇親会（出席者：協会関係者41名、販売会社13名、計54名）（上野・伊豆栄梅川亭/3日）
- 幹事ミーティング（8日）



平成 17 年 (2005 年)

1 月

- 幹事会 (オーム・ゼミルーム/11 日)
 - ・棚分類ワーキング委員会を解消し、普及活動は目録・広報委員会が引き継ぐ
- 例会 (オーム・ゼミルーム/11 日)
 - ・幹事選挙により、新幹事 6 名を選出
 - ・ 榑田義則氏 (オーム社)、岩下孝男氏 (共立出版)、斉藤亮氏 (工業調査会)、米川慎一氏 (産業図書)、望月達夫氏 (彰国社)、山本幸夫氏 (丸善)
 - ・新幹事の協議により、南條光章氏 (共立出版) に幹事長就任を要請
- 新年懇親会 (出席者: 協会関係者 34 名、販売会社 12 名、計 46 名) (オーム・ゼミルーム/11 日)
- 「工学書目録 (2005 年版)」刊行
- 例会出席者変更 (市ヶ谷出版社: 澤崎明治氏より堀口寛氏へ、東京大学出版会: 吉田信夫氏より高橋朋彦氏へ)
- 代理出席者変更 (市ヶ谷出版社: 堀口寛氏より江本潤氏へ、東京大学出版会: 竹内康一氏より吉田信夫氏へ)

2 月

- 会計監査 (2 日)
- 幹事会 (14 日)
- 例会 (日本出版クラブ会館/15 日)
- 定例総会 (日本出版クラブ会館/15 日)
 - ・平成 16 年度決算報告・会計監査報告
 - ・新幹事の発表および承認
 - ・新幹事代表の望月氏から、幹事長に南條光章氏 (共立出版)、会計監事に渡辺武彦氏 (アグネ承風社、再任)、後藤武氏 (彰国社) が推薦され、承認
 - ・南條新幹事長就任挨拶
 - ・新幹事長の推薦を受け、副幹事長に飯塚尚彦氏 (産業図書)、幹事長推薦幹事に吉原寿和氏 (近代科学社)・高橋朋彦氏 (東京大学出版会) が就任
 - ・各委員会委員長の発表
 - 第一販売委員会: 委員長榑田氏 (オーム社)、副委員長吉原氏 (近代科学社)
 - 第二販売委員会: 委員長岩下氏 (共立出版)
 - 第三販売委員会: 委員長米川氏 (産業図書)
 - 第四販売委員会: 委員長山本氏 (丸善)
 - 目録広報委員会: 委員長望月氏 (彰国社)、副委員長高橋氏 (東京大学出版会)

総務委員会：委員長齊藤氏（工業調査会）

- ・平成17年度予算案の報告および承認
- ・懇親会

3月

- フェア開催実行委員会（1日）
 - ・委員長山本幹事、副委員長岩下幹事
 - ・センター店の発展的解消をふまえ、大学生協を含めて実施店を柔軟に見直す
- 幹事会（10日）
 - ・東京研修会の実施に向け、幹事を中心に実行委員会を組織する
- 例会（10日）
- 新規常備店販売会社説明会（11日）
- 東京研修会第1回実行委員会（18日）
 - ・委員長米川幹事、副委員長藪田幹事・齊藤幹事

4月

- 幹事会（6日）
 - ・センター店の発展的解消について、選定会議で発表する
 - ・東京研修会の日程決定（9月16日）
 - ・本年のフェアは、計7店での実施の方向で検討（新規店：ジュンク堂新宿店・旭屋書店名古屋ラシック店・丸善丸の内本店、既存店：ジュンク堂池袋本店、大学生協：京都大学・名古屋大学・東京理科大学）
- 例会（日本出版クラブ会館/13日）
- 常備店選定会議（日本出版クラブ会館/13日）
 - ・常備店376店
 - ・懇親会（出席者：協会関係者83名、販売会社48名、計131名）
- フェア開催実行委員会（19日）
- 「工学書目録（2006年版）」編集会議（日販本社/20日）
- 工学書目録刊行感謝の会（出席者：協会関係者13名、日販7名、計20名）（神田淡路町・萬代/22日）
- 東京研修会第2回実行委員会（26日）
- 代表者変更（東京電機大学出版局：長江光男氏より高橋建氏へ）

5月

- 幹事会（10日）
 - ・東京研修会の招待書店、セミナー講師を、実行委員会の報告にもとづき検討
- 例会（10日）
 - ・インターネット書店「セブン・アンド・ワイ」より3名を招き、例会後、講演会

●東京研修会第3回実行委員会(18日)

- ・研修会の目的の明確化と、それにもとづく招待書店、セミナー講師の再検討

6月

●幹事会(10日)

●例会(10日)

●東京研修会第4回実行委員会(14日)

●研修会に関する打ち合わせ(出席者:幹事長、副幹事長、正副実行委員長)(16日)

- ・セミナー講師、グループミーティングのテーマ、事前アンケートの実施案を決定

●例会出席者変更(裳華房:江波戸重雄氏より吉野和浩氏へ)

●代理出席者変更(理工図書:太田栄一氏より山田久男氏へ)

7月

●幹事会(14日)

●例会(14日)

●フェア開催実行委員会(21日)

- ・選書リスト等に関する状況報告にもとづき、集計および調整

8月

●上期会計監査(5日)

●幹事会(18日)

- ・8月15日から、京大生協でフェア開始

●例会(18日)

9月

●幹事会(9日)

●例会(9日)

●特選セット感謝の会(出席者:協会関係者12名、販売会社19名、計31名)(ホテルグランドパレス/9日)

●工学書協会東京研修会「チャレンジ2005 専門書増売へ向けて」(日本出版クラブ会館/16日)

- ・出席者:協会関係者30名、書店19店23名、販売会社6社6名、講師2名、計61名

- ・幹事長挨拶(南條幹事長)

I部 トークセッション「専門書増売の方法論 —IT化が進む中で—」

(講師 文化通信社星野渉氏・光和コンピュータ代表取締役柴崎和博氏)

II部 グループミーティング(4グループに分かれる)

III部 懇親会(参加者:計90名)

幹事長・相談役挨拶(南條幹事長・佐藤相談役)

乾杯(八重洲ブックセンター 寺島良一氏)

書店出席者からの1分間スピーチ
販売会社出席者紹介
中締め（飯塚副幹事長）

- 西工会（大根カントリークラブ/28日）
- 退会（近代科学社）

10月

- 代表者会・同懇親会（出席者：20社20名）（神楽坂・志満金/7日）
- 幹事会（14日）
- 例会（14日）

11月

- 東京研修会総括会議（8日）
- 幹事会（11日）
- 例会（11日）
・日販早川氏・小川氏来会、新返品システムについての情報交換会
- 代表者変更（三共出版：萩原幸子氏より秀島功氏へ）
- 例会出席者変更（理工図書：澤入均氏より山田久男氏へ）
- 代理出席者変更（理工図書：山田久男氏より澤入均氏へ）

12月

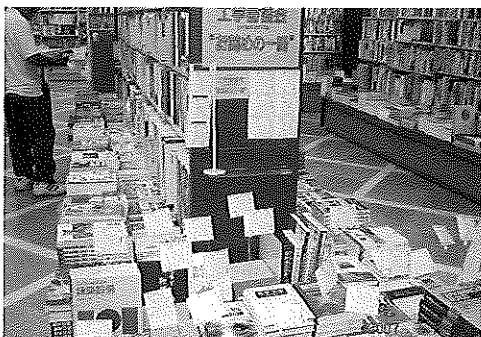
- 幹事会（2日）
・第三販売委員会委員長に、高橋幹事（東京大学出版会）、幹事・第三販売委員会副委員長に、玉村秀男氏（日刊工業新聞社）が就任
- 例会（2日）
- 忘年懇親会（出席者：協会関係者39名、販売会社ほか12名、計51名）（神田淡路町・萬代/2日）
- 例会出席者変更（産業図書：米川慎一氏より岡田和夫氏へ、誠文堂新光社：佐塚勝之氏より森貴行氏へ）
- 代理出席者変更（産業図書：奈良香治氏より小林雅代氏へ、誠文堂新光社：古賀裕吉朗氏より佐塚勝之氏へ）



東京研修会（平成 17 年）



地方書店研修（平成 19 年）
 左：岐阜・自由書房グループ訪問
 左下：丸善名古屋栄店
 右下：書店交流会



平成 18 年 (2006 年)

1 月

- 幹事ミーティング (10 日)
- 幹事会 (12 日)
 - ・ 幹事長より、代表者アンケートの結果をふまえ、地方研修会の見送り (研修会制度の抜本的見直し) を含む、諸活動の見直しが指示された
 - ・ 特選セットの出荷条件について、14 カ月長期への変更を了承
- 例会 (12 日)
- 新年懇親会 (出席者: 協会関係者 29 名、販売会社 13 名、計 42 名) (茗荷谷・茗溪会館/12 日)
- 幹事ミーティング (26 日)
 - ・ 本年度予算案、ホームページの立ち上げについて検討
- 「工学書目録 (2006 年版)」刊行
- 例会出席者変更 (コロナ社: 秋濱直治氏より森岡正晃氏へ、三共出版: 岡部勝氏より野口昌敬氏へ、産業図書: 岡田和夫氏より奈良香治氏へ)
- 代理出席者変更 (コロナ社: 中原鉄弥氏より山本岳夫氏へ、三共出版: 石山慎二氏より岡部勝氏へ)

2 月

- 会計監査 (6 日)
- 幹事会 (9 日)
 - ・ 研修会の見直しについては、目的・レベル・形態を勘案したアンケートを作成し、会員社の意見を集約する
- 例会 (日本出版クラブ会館/14 日)
- 定例総会 (日本出版クラブ会館/14 日)
 - ・ 平成 17 年度決算報告・会計監査報告
 - ・ 平成 18 年度予算案の報告および承認
 - ・ 懇親会
- 代表者変更 (アスキー: 福田峰夫氏より佐藤辰男氏へ)

3 月

- 幹事会 (9 日)
 - ・ 総会で指摘を受けた会計報告の表記法について、修正を行う
- 例会 (9 日)
- 新規常備店販売会社説明会 (16 日)
- 代表者変更 (日刊工業新聞社: 管野亮一氏より渡部明浩氏へ)

4 月

●幹事会（7日）

- ・研修会アンケートの結果、アマゾンへの関心が強く、なんらかの企画を考えたい

●例会（日本出版クラブ会館/12日）

●常備店選定会議（日本出版クラブ会館/12日）

- ・常備店 378 店

- ・懇親会（出席者：協会関係者 79 名、販売会社 48 名、計 127 名）

●「工学書目録（2007年版）」編集会議（日販本社/14日）

●工学書目録刊行感謝の会（出席者：協会関係者 13 名、日販 7 名、計 20 名）（神楽坂・別亭鳥茶屋/21日）

5 月

●幹事会（12日）

- ・アマゾンとのミニ研修会の開催決定

- ・HPの立ち上げについてアンケートを実施する

- ・ISBN13 桁化（2007年1月実施）に伴い、目録レイアウトの変更が必要になる

●例会（12日）

6 月

●幹事会（9日）

- ・トーハン桶川の稼働状況にもよるが、期内にミニ見学会を実施する可能性を検討中

●例会（9日）

●ミニ研修会「工学書増売とネット書店—アマゾンからの提案—」（茗荷谷・茗溪会館/9日）

- ・講師：アマゾンジャパン友田雄介氏ほか

- ・出席者：工学書協会幹事長・副幹事長・例会出席者・事務局 29 名、会員社の担当者・代表者などの参加希望者 18 名、計 47 名

- ・研修内容：アマゾンから、ネット書店における理工学書販売実績の特徴の説明、「e 託販売サービス」「なか見！検索」の提案を受けた後、質疑応答と、軽食をとりながらの名刺交換会を行った

7 月

●幹事会（11日）

●例会（11日）

- ・ISBN13 桁化に向けた取組みについて情報交換

8 月

●上期会計監査（10日）

9月

- 幹事会（8日）
 - ・HPについて、飯塚副幹事長がドメインの取得手続きをとることを確認
- 例会（8日）
- 特選セット感謝の会（出席者：協会関係者12名、販売会社15名、計27名）（四谷・源源飯店/8日）
- 第30回西工会（大利根カントリークラブ/27日、雷雨のため途中で中止）

10月

- 幹事会（12日）
- 例会（12日）
- 代表者会・同懇親会（出席者：22社22名）（銀座・がんこ/12日）
- 例会出席者変更（実教出版：角田徹氏より丹野豊氏へ）

11月

- 幹事会（10日）
 - ・来年度の新規常備店の基準に、「選定会議開催時に開店後半年以上経過」を加える（選定後1年以内に専門書から撤退を表明する事例が発生したため）
 - ・HPのドメイン（kogakusho.com）を取得した
- 例会（10日）

12月

- 幹事ミーティング（1日）
- 幹事会（1日）
- 例会（1日）
- 忘年懇親会（出席者：協会関係者38名、販売会社ほか10名、計48名）（つきぢ田村/1日）

平成 19 年 (2007 年)

1 月

- 幹事ミーティング (10 日)
- 幹事会 (12 日)
 - ・「一冊でも多く販売する」という原点にかえり、本年も積極的な活動を行うことを確認
 - ・高橋幹事より地方研修会に関する提案 (人文会の研修制度の長所を取り入れた内容)
- 例会 (12 日)
 - ・幹事選挙により、新幹事 6 名を選出
榎田義則氏 (オーム社)、岩下孝男氏 (共立出版)、望月達夫氏 (彰国社)、高橋朋彦氏 (東京大学出版会)、玉村秀男氏 (日刊工業新聞社)、山本幸夫氏 (丸善)
 - ・新幹事の協議により、南條光章氏 (共立出版、再任) に幹事長就任を要請
- 新年懇親会 (出席者: 協会関係者 34 名、販売会社 13 名、計 47 名) (茗荷谷・茗溪会館/12 日)
- 幹事ミーティング (22 日)
- 「工学書目録 (2007 年版)」刊行
- 代表者変更 (市ヶ谷出版社: 本郷充氏より宇野修蔵氏へ)
- 例会出席者変更 (アスキー: 大澤武史氏より宮垣英樹氏へ、工業調査会: 斉藤亮氏より高城猷氏へ、森北出版: 吉松啓視氏より遠藤一良氏へ)
- 代理出席者変更 (アスキー: 宮垣英樹氏より伊藤弘幸氏へ、工業調査会: 高城猷氏より斉藤亮氏へ)

2 月

- 会計監査 (2 日)
- 幹事ミーティング (2 日)
- 幹事会 (5 日)
- 例会 (日本出版クラブ会館/8 日)
- 定例総会 (日本出版クラブ会館/8 日)
 - ・平成 18 年度決算報告・会計監査報告
 - ・新幹事の発表および承認
 - ・新幹事長の推薦を受け、副幹事長に飯塚尚彦氏 (産業図書、再任)、会計監事に渡辺武彦氏 (アグネ承風社、再任)・後藤武氏 (彰国社、再任)、幹事長推薦幹事に渡辺孝一氏 (井上書院)・吉野和浩氏 (裳華房) が就任
 - ・各委員会委員長の発表
 - 第一販売委員会: 委員長榎田氏 (オーム社)、副委員長吉野氏 (裳華房)
 - 第二販売委員会: 委員長岩下氏 (共立出版)
 - 第三販売委員会: 委員長高橋氏 (東京大学出版会)、副委員長渡辺氏 (井上書院)

第四販売委員会：委員長山本氏（丸善）

目録広報委員会：委員長望月氏（彰国社）

総務委員会：委員長玉村氏（日刊工業新聞社）

・平成 19 年度予算案の報告および承認

・懇親会

●代表者変更（技報堂出版：長祥隆氏より長滋彦氏へ）

3 月

●幹事会（9 日）

・常備店選定基準遵守を確認（基準に満たない推薦店は準常備店扱いとし、ステッカーや目録を送付することで対応）

・地方書店研修

1. 7 月 13～14 日の 1 泊 2 日日程とする

2. 訪問地域は愛知・岐阜地域とする

3. グループ訪問方式をとり、地域の常備店をできるだけ網羅的に訪問する

4. 中日新聞に、訪問日の 7 月 13 日、協会の連合広告を掲載する

（中日新聞の好意により、後に北陸中日新聞にも掲載することになる）

5. 各社 1 点の掲載書目を中心に、地域常備店にミニフェアの実施を提案（POP を提供）

●例会（9 日）

●新規常備店販売会社説明会（16 日）

●例会出席者変更（丸善：山本幸夫氏から二村忠彰氏へ）

4 月

●幹事会（5 日）

・幹事長より、60 周年記念事業（2008 年）の検討開始が指示された

（式典担当：玉村総務委員長、企画担当：高橋第三販売委員長）

・目録刊行会が 2008 年版から印刷会社の変更を決定（大日本印刷より錦明印刷へ）

・HP アップロード（工事中画面、当面は、研修会の告知、50 周年記念誌の公開などに利用していく方針で準備を進める）

・幹事（第四販売委員長）に、二村忠彰氏（丸善）が就任

●例会（日本出版クラブ会館/10 日）

●常備店選定会議（日本出版クラブ会館/10 日）

・常備店 368 店

・懇親会（出席者：協会関係者 82 名、販売会社 48 名、計 130 名）

●「工学書目録（2008 年版）」編集会議（日販本社/12 日）

・印刷会社の変更之际し、既存データの管理等に十分な注意を払うよう刊行会に要請

●工学書目録刊行感謝の会（出席者：協会関係者 15 名、日販 8 名、計 23 名）（日本橋・ゆかり/19 日）

- 書店研修会第三販売委員会・幹事会合同会議（26日）
 - ・会員社23名、販売会社7名の計30名参加予定で予算計上
 - ・実質的に実行委員会としての機能を担うことを確認
- 代表者変更（東京電機大学出版局：高橋建氏より植村八潮氏へ）

5月

- 幹事会（11日）
- 例会（11日）
- 代表者変更（丸善：松嶋徹氏より中村俊司氏へ）

6月

- 幹事会（8日）
 - ・2008年版目録には、懸案の著者索引をつける方向で検討中
- 例会（8日）
- ミニ研修会「紀伊國屋書店・ネットライブラリー」説明会（8日）
 - ・講師：紀伊國屋書店 OCLC センター新元公寛氏ほか

7月

- 幹事会（10日）
 - ・地方書店研修に連動したミニフェアへの参加申し込み11店舗、訪問書店以外からも3店舗より受注（28冊全点展示は5店舗）
 - ・「工学書目録（2008年版）」の制作に、Web入稿システムを導入
- 例会（10日）
 - ・フタバ図書 MEGA 岡山青江店より新規出店の挨拶
- 地方書店研修（13日～14日）
 - ・参加者：会員社21社23名、販売会社ほか7名、計30名
 - ・愛知・岐阜地域の24店舗を、5グループに分かれて訪問
 - ・書店交流会（出席者：研修参加者30名、書店8店8名、販売会社現地支店2名、中日新聞社2名、計42名）（名古屋/13日）
 - 幹事長挨拶（南條幹事長）
 - 来賓挨拶（愛知県書店商業組合理事長・正文館書店社長 谷口正明氏）
 - 来賓挨拶（中日新聞編集局経済部デスク 寺本政司氏）
 - 乾杯（日販名古屋地区 COO 鈴木薫氏）
 - 書店からの一言挨拶
 - 中締め（飯塚副幹事長）
- 地方書店研修総括会議（26日）

8月

- 上期会計監査（9日）

9月

- 幹事会（7日）
 - ・HPは、販売サイトではなく、協会の活動を伝える（例えば年史、棚分類マニュアルの紹介）ものとする方向で考えたい
- 例会（7日）
- 特選セット感謝の会（出席者：協会関係者13名、販売会社16名、計29名）（赤坂・過門香/7日）
- 代表者変更（アスキー：佐藤辰男氏より高野潔氏へ）
- 例会出席者変更（アスキー：宮垣英樹氏より坂本洋史氏へ）
- 代理出席者変更（アスキー：伊東弘幸氏より池田一樹氏へ）

10月

- 幹事会（10日）
- 例会（10日）
- ミニ研修会「ブックメール倶楽部について」（10日）
 - ・講師：くろしお出版副社長岡野秀夫氏
- 代表者会・同懇親会（出席者：21社21名）（芝・とうふ屋うかい/25日）
- 例会出席者変更（横書店：小倉正久氏より山本恒雄氏へ）

11月

- 幹事会（9日）
 - ・共栄アドインフォより、ブックメール倶楽部と連携したHP構築の提案があった
- 例会（9日）
 - ・全国大学生協連書籍事業部渡辺氏より、POSデータ集計システム変更とデータ提供、新刊書誌データ、新刊注文集約システムの積極的利用、年度末専門書フェアについて説明
- 例会出席者変更（実教出版：丹野豊氏より小林祥浩氏へ）
- 幹事ミーティング（21日）
 - ・60周年記念事業

12月

- 幹事会（7日）
- 例会（7日）
 - ・丸善仕入物流本部安田氏より、「大学図書館向け自動配本サービス」の説明と協力依頼
- 忘年懇親会（出席者：協会関係者38名、販売会社ほか12名、計50名）（グランドアーク半蔵門/7日）

平成 20 年 (2008 年)

1 月

- 幹事会 (11 日)
 - ・ 60 周年という節目の年を弾みにして、一冊でも多く販売するという原点にかえり積極的に活動をしていきたい
- 例会 (11 日)
 - ・ 全体写真撮影
- 新年懇親会 (出席者：協会関係者 29 名、販売会社 13 名、計 42 名) (茗荷谷・茗溪会館/11 日)
- 幹事ミーティング (25 日)
- 「工学書目録 (2008 年版)」刊行
- 代表者変更 (裳華房：吉野達治氏より吉野和浩氏へ)

2 月

- 会計監査 (4 日)
- 幹事会 (5 日)
- 例会 (日本出版クラブ会館/8 日)
- 定例総会 (日本出版クラブ会館/8 日)
 - ・ 平成 19 年度決算報告・会計監査報告
 - ・ 平成 20 年度予算案の報告および承認
 - ・ 懇親会
- 退会 (アスキー、横書店) 会員社数 26 社になる
- 代表者変更 (工業調査会：志村幸雄氏より新谷滋記氏へ)

3 月

- 幹事会 (12 日)
 - ・ 前期は、ミニ研修会として各販売会社の倉庫見学会を計画、後期には、創立 60 周年記念行事の一環として書店感謝の会を開く予定 (式典との同時開催案もある)
 - ・ 日販目録刊行会の宇佐美氏来会、情報交換
- 例会 (12 日)
- 新規常備店販売会社説明会 (19 日)

4 月

- 幹事会 (10 日)
 - ・ ミニ研修会は、アンケート結果をふまえ、販売会社の倉庫見学会 (日販 Web センター・トーハン桶川) を計画している (バスを 1 日チャーター、7 月 15 日を候補日とする)

- ・60周年の小史の内容構成案を検討、B5判、並製、64頁、500部作成の予定
- 例会（日本出版クラブ会館/15日）
- 常備店選定会議（日本出版クラブ会館/15日）
 - ・常備店371店
 - ・懇親会（出席者：協会関係者75名、販売会社46名、計121名）
- 「工学書目録（2009年版）」編集会議（日販本社/18日）
- 工学書目録刊行感謝の会（出席者：協会関係者15名、日販8名、計23名）（銀座・花蝶/25日）
- 代表者変更（丸善：中村俊二氏より吉田明彦氏へ）
- 代理出席者変更（海文堂出版：中原俊二氏より當山臣人氏へ、丸善：大塚幸生氏より東條健氏へ）

5月

- 幹事会（14日）
 - ・協会HPは8月をめどにトップページをアップロードする予定（デザイン案見本画面をメールで送付）
- 例会（14日）

6月

- 幹事会（11日）
 - ・目録は、昨年からのWeb入稿になったが、会員社へのアンケートにもとづき、スムーズな運営、構築のための見直しを行った
 - ・60周年記念事業について下記の決定
 1. ブックフェア：ジュンク堂池袋店「環境」フェア
期間：11月22日（土）から1カ月間
 2. 書店感謝の会：式典と同時開催（12月10日）で調整
16：30～書店感謝の会（講演会） 18：00～式典、懇親会
 3. 小史（見本組をもとに検討）
- 例会（11日）

7月

- ミニ研修会「販売会社倉庫見学会」（15日）
 - ・参加者：23社39名
 - ・日販Web-Bookセンター、トーハン桶川SCMセンター見学

8月

- 上期会計監査（7日）
- 幹事会（8日）

- ・上期会計監査において、会計監事から流通対策準備金の扱いについて見直し案が出され、次年度に65周年または70周年記念事業準備金の科目に組み入れるよう検討することとする
- ・ミニ研修会は、ほぼスケジュールどおりに運営され、おおむね好評だった
- ・幹事会暑気払い
- 代表者変更（省エネルギーセンター：河野修一氏から奥村和夫氏へ）
- 例会出席者変更（技報堂：長範彦氏から伊藤大樹氏へ）
- 代理出席者変更（技報堂：鈴木正春氏から長範彦氏へ）

9月

- 幹事会（11日）
 - ・常備店名簿のデータを管理しているソフト「カードセブン」について、「エクセル」などの別のソフトに置き換えるか検討中
 - ・60周年祝賀会日程を、12月9日に変更
- 例会（11日）
- 特選セット感謝の会（出席者：協会関係者14名、販売会社16名、計30名）（銀座アスター御茶ノ水賓館/11日）

10月

- 幹事会（10日）
 - ・第三販売委員会委員長代行に、渡辺幹事（井上書院）が就任
 - ・来年度の地方書店研修は、大阪・京都・神戸の書店を候補として、昨年同様のグループ訪問を行う方向で検討をすすめる
- 例会（10日）
- 代表者会・同懇親会（出席者：23社23名）（日本橋・八重洲大飯店/30日）
- 例会出席者変更（東京大学出版会：高橋朋彦氏から吉田健司氏へ）
- 代理出席者変更（東京大学出版会：吉田信夫氏から黒田拓也氏へ）

11月

- 幹事ミーティング（6日）
 - ・60周年記念祝賀会の運営要綱を検討
- 幹事会（12日）
 - ・幹事長より、来期の幹事選挙にあたり、委員会構成の変更も検討したい意向が示された
 - ・ホームページは、ほぼオープンできる状態にある（情報量、更新方法、運営方法を調整中）
 - ・60周年記念事業
 1. ブックフェア（担当：櫛田幹事、岩下幹事）
ジュンク堂池袋店の「環境」フェアを、11月23日（日）から1カ月間開催
 2. 祝賀会（担当：玉村幹事、渡辺幹事）
第1部講演会、第2部祝賀会の式次第を確認

3. 記念品（担当：二村幹事）

柄に「工学書協会 60 周年記念」と彫り込みを入れたペーパーナイフと菓子折

4. 小史（担当：望月幹事、玉村幹事、渡辺幹事）

「各社紹介欄」は全社の原稿入手済み、歴代の例会出席者一覧については、後日メールにて各社に確認、現在、10年間の活動をまとめている

●例会（12日）

12月

●例会（日本出版クラブ会館/9日）

●60周年記念祝賀会（日本出版クラブ会館/9日）

第1部 講演会「お客様が喜ぶ接客を考える～一冊でも多く売るために～」

講師：吉田理絵嘉氏

第2部 祝賀会（出席者：協会関係者42名、書店21名、販売会社19名、来賓・講師3名、計85名）

幹事長挨拶 南條幹事長

来賓挨拶 自然科学書協会 本郷允彦氏

日本出版販売 安西浩和氏

乾杯 トーハン 関口晴生氏

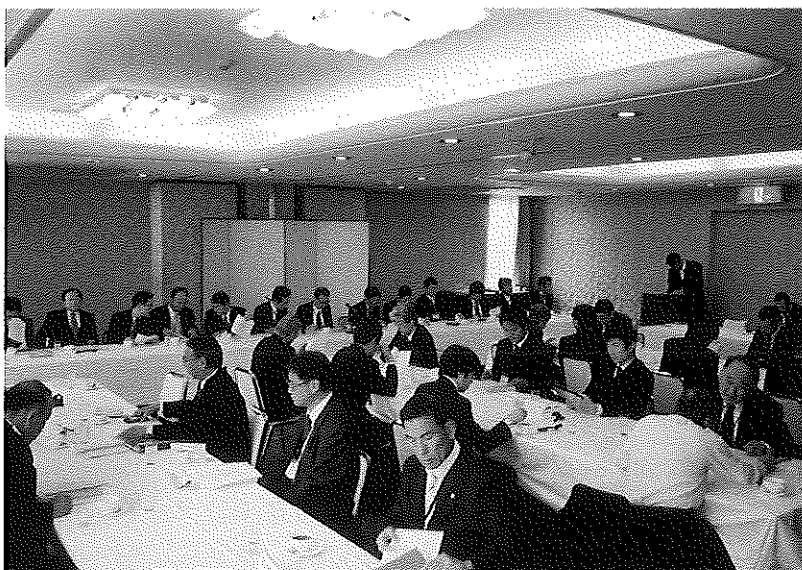
中締め 西村書店 西村俊雄氏

●幹事ミーティング（16日）

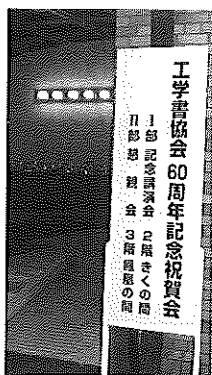
・次年度予算、幹事改選について

●例会出席者変更（海文堂出版：小坂啓之氏から當山臣人氏へ）

●代理出席者変更（海文堂出版：當山臣人氏から小坂啓之氏へ）



常備店選定会議（平成20年）



工学書協会 60周年記念祝賀会



平成 20 年 1 月例会出席者

歴代代表者・例会出席者名簿

各社欄上段:代表者 下段:例会出席者 / 各年度 2月末時の登録者
 会員者欄 ※:幹事 () :所属委員会 ●:所属委員会委員長 ◎:同副委員長
 (1)~(4):第一販売委員会~第四販売委員会 (目):目録広報委員会 (総):総務委員会

	H11	H12	H13	H14	H15	
幹事長	佐藤 政次	佐藤 政次	佐藤 政次	佐藤 政次	佐藤 政次	
副幹事長	南條 光章	南條 光章	南條 光章	南條 光章	南條 光章	
会計監事	渡辺 武彦 深山 恒雄	渡辺 武彦 松嶋 徹	渡辺 武彦 松嶋 徹	渡辺 武彦 松嶋 徹	渡辺 武彦 松嶋 徹	
相談役						
アグネ承風社	渡辺 武彦 (総)	渡辺 武彦 (総)	渡辺 武彦 (総)	渡辺 武彦 (総)	渡辺 武彦 (総)	
アスキー	鈴木 憲一 (4)	鈴木 憲一 (4)	鈴木 憲一 (4)	鈴木 憲一 (4)	小森 哲郎 ▲◇松本 浩	
市ヶ谷出版	宇野 豊蔵 (2)	宇野 豊蔵 (2)	宇野 豊蔵 ※(2)◎▲	宇野 豊蔵 ※(2)◎	宇野 豊蔵 ▲▽澤崎 明治	
井上書院	関谷 勉 ※(目)●	関谷 勉 ※(目)●	関谷 勉 ※(目)●▲	関谷 勉 ※(目)●	関谷 勉 (目)■	
オーム社	佐藤 政次 ※(1)●	佐藤 政次 ※(1)●	佐藤 政次 ※(1)●★	佐藤 政次 ※(1)●	佐藤 政次 ※(1)●▼	
海文堂出版	岡田 吉弘 (3)	岡田 吉弘 (3)	岡田 吉弘 (3)	岡田 吉弘 (3)	岡田 吉弘 (3)	
学献社	横井川 彰 (3)	横井川 彰 (3)	横井川 彰 (2)	横井川 彰 (2)	横井川 彰 長 祥隆	
枝報堂出版	長 祥隆 (目)	長 祥隆 (目)	長 祥隆 (4)	長 祥隆 (4)	長 祥隆 (4)	
共立出版	鈴木 正春 南條 光章 ※(2)●	鈴木 正春 南條 光章 ※(2)●△	鈴木 正春 南條 光章 ※(2)●▼	鈴木 正春 南條 光章 ※(2)●	鈴木 正春 南條 光章 ※(2)●▼	
近代科学社	佐藤 清俊 櫻井 亮志 (1)	佐藤 清俊 櫻井 亮志 (1)	佐藤 清俊 櫻井 亮志 (1)	佐藤 清俊 櫻井 亮志 (1)	佐藤 清俊 櫻井 亮志 (1)	
工学図書	吉原 寿和 川村 悦三 (総)	吉原 寿和 川村 悦三 (総)	吉原 寿和 川村 悦三 (総)	吉原 寿和 川村 悦三 (総)	吉原 寿和 川村 悦三 (目)	
工業調査会	岩崎 敬一郎 志村 幸雄 ※(3)●	岩崎 敬一郎 志村 幸雄 (2)△	岩崎 敬一郎 志村 幸雄 (1)▲	岩崎 敬一郎 志村 幸雄 (1)	岩崎 敬一郎 志村 幸雄 ※(1)◎▲	
コロナ社	斎藤 亮 (目)	斎藤 亮 (目)	斎藤 亮 (1)	斎藤 亮 (1)	斎藤 亮 (1)	
三共出版	牛来 辰巳 萩原 幸子 (目)	牛来 辰巳 萩原 幸子 (目)	牛来 辰巳 萩原 幸子 (目)	牛来 辰巳 萩原 幸子 (目)	牛来 辰巳 萩原 幸子 (目)	
産業図書	岡部 勝 (目)	岡部 勝 (目)	岡部 勝 (目)	岡部 勝 (目)	岡部 勝 (目)	
省エネター セナルギー	江面 竹彦 奈良 香治 (2)	江面 竹彦 奈良 香治 (2)△	江面 竹彦 奈良 香治 (2)	江面 竹彦 奈良 香治 (2)	江面 竹彦 奈良 香治 (2)	
裳華房	森 信昭 (目)	森 信昭 (目)	森 信昭 (目)	森 信昭 (目)	森 信昭 (目)	
昭晃堂	山川 三世 吉野 達治 ※(総)●	山川 三世 吉野 達治 ※(総)●	山川 三世 吉野 達治 ※(総)●	山川 三世 吉野 達治 ※(総)●	山川 三世 吉野 達治 ※(総)●	
彰国社	保井 秀夫 阿井 國昭 (目)	保井 秀夫 阿井 國昭 (目)	保井 秀夫 阿井 國昭 (目)	保井 秀夫 阿井 國昭 (目)	保井 秀夫 阿井 國昭 (目)	
実教出版	山本 泰四郎 (1)	山本 泰四郎 (1)	山本 泰四郎 (目)	山本 泰四郎 (目)	山本 泰四郎 ※(目)●▲◆	
誠文堂新光社	小林 重勝 横尾 武輔 (3)	小林 重勝 横尾 武輔 (3)	小林 重勝 横尾 武輔 (3)	小林 重勝 横尾 武輔 (3)	小林 重勝 横尾 武輔 (1)	
大日本図書	山川 正統 瀧田 貴 (総)	山川 正統 瀧田 貴 (総)	山川 正統 瀧田 貴 (3)	山川 正統 瀧田 貴 (3)	山川 正統 瀧田 貴 (3)	
東京大学 出版	清水 敏 金子 賢太郎 (4)	清水 敏 金子 賢太郎 (4)	清水 敏 金子 賢太郎 (4)	清水 敏 金子 賢太郎 (4)	清水 敏 金子 賢太郎 (4)	
東京電機 大学出版	山下 正 山口 雅己 (2)	山下 正 山口 雅己 (2)	山下 正 山口 雅己 (1)	山下 正 山口 雅己 (1)	山下 正 山口 雅己 (3)	
日科技連 出版	原野 勉 田中 健 (1)	原野 勉 田中 健 (1)	原野 勉 田中 健 (2)	原野 勉 田中 健 (2)	原野 勉 田中 健 (2)	
日新工業 社	原野 勉 飯嶋 光雄 ※(1)◎	原野 勉 飯嶋 光雄 (1)	原野 勉 飯嶋 光雄 ※(3)●▲	原野 勉 飯嶋 光雄 ※(3)●	原野 勉 飯嶋 光雄 ※(3)●★	
パワー社	原田 守 (総)	原田 守 (総)	原田 守 (目)	原田 守 (目)	原田 守 (3)	
棋書店	原田 守 (3)	原田 守 (3)	原田 守 (総)	原田 守 (総)	原田 守 (総)	
丸善出版 事業部	高野 実 松嶋 徹 (1)	高野 実 松嶋 徹 (1)	高野 実 松嶋 徹 ※(1)◎	高野 実 松嶋 徹 ※(1)◎	高野 実 松嶋 徹 ※(4)●▲▼	
森北出版	大石 康博 森北 肇 ※(4)●	大石 康博 森北 肇 ※(4)●	大石 康博 森北 肇 ※(4)●▲	大石 康博 森北 肇 ※(4)●	大石 康博 森北 肇 (4)	
理工図書	西山 政徳 柴山 和夫 (4)	西山 政徳 柴山 和夫 (4)	西山 政徳 柴山 和夫 (4)	西山 政徳 柴山 和夫 (4)	西山 政徳 柴山 和夫 (4)	
			▲:東京研協会実行委員会 (★:委員長 ▼:副委員長)		▲:東京研協会実行委員会 (★:委員長 ▼:副委員長) △:フェアアワー実行委員会 (☆:委員長 ▼:副委員長) ■:相分理委員会 (◇:委員長 ◆:副委員長)	

	H16	H17	H18	H19	H20
幹事長	佐藤 政次	南條 光章	南條 光章	南條 光章	南條 光章
副幹事長	南條 光章	飯塚 尚彦	飯塚 尚彦	飯塚 尚彦	飯塚 尚彦
会計監事	渡辺 武彦 松嶋 徹	渡辺 武彦 後藤 武	渡辺 武彦 後藤 武	渡辺 武彦 後藤 武	渡辺 武彦 後藤 武
相談役		佐藤 政次	佐藤 政次		
アグネ承風社	(特) 渡辺 武彦 渡辺 武彦 小森 哲郎	(特) 渡辺 武彦 渡辺 武彦 福田 峰夫	(特) 渡辺 武彦 渡辺 武彦 佐藤 辰男	(特) 渡辺 武彦 渡辺 武彦 佐藤 辰男	(特) 渡辺 武彦 渡辺 武彦
アスキー	※(3) ● ◇ 松本 浩 (1) 本郷 充 澤崎 明治	△ 大澤 武史 (1) 本郷 充 堀口 寛	(1) 大澤 武史 (1) 本郷 充 堀口 寛	(1) H 宮垣 英樹 宇野 修哉	
市ヶ谷出版	※(特) ● 関谷 勉 渡辺 孝一	(特) ▲ 堀口 寛 関谷 勉	(特) 堀口 寛 (1) 関谷 勉	(1) 堀口 寛 (1) 関谷 勉	宇野 修哉 堀口 寛
井上書院	(目) ■ 渡辺 孝一 佐藤 政次	(目) 渡辺 孝一 佐藤 政次	(目) 渡辺 孝一 佐藤 政次	※(3) ◎ 渡辺 孝一 佐藤 政次	※(3) ◎ 渡辺 孝一 佐藤 政次
オーム社	※(1) ● ■ 中川 六郎 岡田 吉弘	※(1) ● ▼ △ 榎田 義則 岡田 吉弘	※(1) ● 榎田 義則 岡田 吉弘	※(1) ● 榎田 義則 岡田 吉弘	※(1) ● 榎田 義則 岡田 吉弘
海文堂出版	(3) 岡田 吉弘 中原 俊二	▲ 小坂 啓之 (3)	(3) 小坂 啓之 (特)		小坂 啓之 (特)
学献社					
技報堂出版	(4) 長 祥隆 長 範彦	△ 長 祥隆 長 範彦	(1) 長 祥隆 長 範彦	(1) H 長 祥隆 長 範彦	(1) H 長 祥隆 長 範彦
共立出版	※(2) ● ▲ 岩下 孝男 櫻井 慧子	※(2) ● ▲ ▼ 岩下 孝男 塚本 慶一郎	※(2) ● 岩下 孝男	※(2) ● 岩下 孝男	※(2) ● 岩下 孝男
近代科学社	(1) △ 笠原 隆 笠原 隆	※(1) ◎ △ 笠原 隆 笠原 隆			
工学図書	(目) 笠原 隆 志村 幸雄	(3) ▲ 笠原 隆 志村 幸雄	(3) 笠原 隆 志村 幸雄	(3) 笠原 隆 志村 幸雄	(3) 笠原 隆 志村 幸雄
工業調査会	※(1) ◎ ☆ 斎藤 亮 牛来 辰巳	※(特) ● ▼ △ 斎藤 亮 牛来 辰巳	※(特) ● 斎藤 亮 牛来 辰巳	(3) 高城 敏 森岡 正晃	(3) 高城 敏 森岡 正晃
コロナ社	(1) △ 秋濱 直治 萩原 幸子	(1) △ 秋濱 直治 萩原 幸子	(1) 森岡 正晃 秀島 功	(目) 森岡 正晃 秀島 功	(目) 森岡 正晃 秀島 功
三共出版	(目) ■ 岡部 勝 飯塚 尚彦	(目) 岡部 勝 飯塚 尚彦	(目) 野口 昌敏 飯塚 尚彦	(目) 野口 昌敏 飯塚 尚彦	(目) 野口 昌敏 飯塚 尚彦
産業図書	※(2) ◎ △ 米川 慎一 河野 修一	※(3) ● ★ △ 米川 慎一 河野 修一	(4) 奈良 香治 河野 修一	(4) 奈良 香治 河野 修一	(4) 奈良 香治 河野 修一
省エネルギーセンター	(目) ■ 山川 三世 吉野 達治	(目) 山川 三世 吉野 達治	(目) 山川 三世 吉野 達治	(目) 山川 三世 吉野 達治	(目) 山川 三世 吉野 達治
裳華房	(1) △ 江波戸 重雄 阿井 國昭	(4) △ 江波戸 重雄 阿井 國昭	(1) 吉野 和浩 阿井 國昭	※(1) ◎ 吉野 和浩 阿井 國昭	※(1) ◎ H 吉野 和浩 阿井 國昭
昭晃堂	(目) 信澤 功 山本 泰四郎	(目) 小林 孝雄 後藤 武	(目) 小林 孝雄 後藤 武	(目) 小林 孝雄 後藤 武	(目) 小林 孝雄 後藤 武
彰国社	※(目) ● ◆ 望月 達夫 島根 正幸	※(目) ● ▲ 望月 達夫 島根 正幸	※(目) ● 望月 達夫 島根 正幸	※(目) ● 望月 達夫 島根 正幸	※(目) ● 望月 達夫 島根 正幸
実教出版	(1) △ 斎藤 幸雄 小川 雄一	(1) △ 角田 徹 小川 雄一	(1) 角田 徹 小川 雄一	(1) 丹野 豊 小川 雄一	(1) 小川 雄一 森 貴行
誠文堂新光社	(3) 佐塚 勝之	(3) ▲ 佐塚 勝之	(2) 森 貴行	(2) 森 貴行	(2) 森 貴行
大日本図書					
東京大学出版会	(3) 大江 治一郎 吉田 信夫	※(目) ◎ ▲ 高橋 朋彦 長江 光男	※(3) ● 高橋 朋彦 高橋 建	※(3) ● 高橋 朋彦 高橋 建	※(3) ● 高橋 朋彦 植村 八朗
東京電機大学出版局	(特) 長江 光男 石平 晋一郎	(2) 石平 晋一郎	(2) 石平 晋一郎	(2) 石平 晋一郎	(2) 石平 晋一郎
日科技連社	小山 薫 真鍋 晋哉	田中 健 真鍋 晋哉	(2) 田中 健 真鍋 晋哉	(2) 田中 健 真鍋 晋哉	(2) 田中 健 真鍋 晋哉
日刊工業新聞社	(2) 菅野 亮一 玉村 秀男	(2) ▲ 玉村 秀男	※(3) ◎ 玉村 秀男	※(特) ● 玉村 秀男	※(特) ● 玉村 秀男
パワー社	(3) 原田 守 原田 守	(3) ▲ 原田 守	(3) 原田 守	(4) 原田 守	(4) 原田 守
横書店	(特) 山本 恒雄 小倉 正久	(特) 山本 恒雄 小倉 正久	(特) 山本 恒雄 小倉 正久	(特) 山本 恒雄 小倉 正久	(特) 山本 恒雄 小倉 正久
丸善出版部	※(4) ● △ 山本 幸夫 森北 肇	※(4) ● ▲ ☆ 山本 幸夫 森北 肇	※(4) ● 山本 幸夫 森北 肇	※(4) ● 山本 幸夫 森北 肇	※(4) ● 山本 幸夫 森北 肇
森北出版	(4) 吉松 啓復 柴山 斐呂子	(4) 吉松 啓復 柴山 斐呂子	(4) 吉松 啓復 柴山 斐呂子	(4) H 遠藤 一良 山田 久男	(4) H 遠藤 一良 山田 久男
理工図書	(4) 澤入 均	(4) 澤入 均	(4) 山田 久男	(特) 山田 久男	(特) 山田 久男
	△ : フェア関係実行委員会 (☆ : 委員長 ▼ : 副委員長) ■ : 振分額委員会 (◇ : 委員長 ◆ : 副委員長)	▲ : 東京研学会実行委員会 (★ : 委員長 ▼ : 副委員長) △ : フェア関係実行委員会 (☆ : 委員長 ▼ : 副委員長)		H : HP関係委員会 (○ : 委員長)	H : HP関係委員会 (○ : 委員長)

工学書協会会則

〈組 織〉

第1条 本会は工学書協会と称す。

第2条 本会の事務局を東京都に置く。

第3条 本会は理工学書を主たる出版物とする出版社（以下会員と称す）で、本会の主旨に賛同するものを以て組織する。

〈目 的〉

第4条 本会は理工学書の円滑なる流通を促進し、販売の向上と情報の交換を図ると共に会員相互間の親睦を深め、以て出版文化に貢献することを目的とする。

〈事 業〉

第5条 本会は前条の目的達成のために次の事業を行う。

1. 有力取次店と提携し、常備協力店選定による合理的販売の実施。
2. 流通ならびに取引き上の問題に対する改善、改革と販売向上のための具体策の調査・研究。
3. 月刊「理工学図書ニュース」「部門別工学書目録」ならびに「全国常備協力店名簿」等の発行。
4. 出版ならびに販売技術向上のための調査、研究等を行う。
5. その他本会の目的達成に必要な事業。

〈入 会〉

第6条 入会希望者の資格は理工学書を100点以上有する者で、本会の主旨に賛同し、協会の方針に協調できるものでなくてはならない。

第7条 1. 本会に入会しようとする者は、会員2者以上の推薦による入会申込書を提出するものとする。

2. これにより幹事会の審議の上、適切と認められた場合は例会に計り承認を得なければならない。

〈入会金・会費〉

第8条 本会の入会金は30万円とする。

第9条 本会の会費は月額1万円とし、年2回（1月、7月）に分割納入する。一旦納付した入会金および会費は事由の如何にかかわらず返還しない。

〈退 会〉

第10条 本会の会員であって次の事項に該当するのは例会の決議により退会者とみなす。

1. 会員より文書で申し出があったとき。

2. 出版、販売の業務を中止したとき。

3. 会費を1カ年以上滞納し、督促におよぶも納付しないとき。

4. 理由なくして6カ月以上にわたり例会に欠席したとき。

〈除 名〉

第11条 会員としての業務に違反し、または決定事項にたいして非協力的であり、あるいは協会の体面を汚すような行為があったときは、総会の議決によりこれを除名することができる。

〈役 員〉

第12条 本会は次の役員を置くことができる。

1. 幹事長 1名
2. 副幹事長 2名
3. 会計監事 2名
4. 幹事 若干名

第13条 幹事長及び会計監事は幹事会で代表者の中から候補者を推薦し、総会で承認を得る。副幹事長は幹事長の推薦で決める。

第14条 幹事長は本会を代表し、会務を総理する。

第15条 副幹事長は幹事長を補佐し、幹事長事故あるときは、その職務を代行する。

第16条 会計監事は決算事項の監査認証を行い総会に提示する。

第17条 幹事は例会出席登録者の中から1月例会で推挙し、総会で承認を得る。

第18条 幹事は幹事会を組織し、幹事長を補佐して会務を運営する。

第19条 1. 幹事長の任期は2年とする。ただし再選は妨げないが3期6年以内とする。

2. 副幹事長、会計監事、幹事の任期は2年とし再選は妨げない。

3. 幹事欠員の補充は幹事会で協議決定する。

4. 役員は任期満了後でも、後任者が就任するまではその職務を行う。

第20条 本会には相談役を置くことができる。

相談役は重要事項について幹事長および幹事会の諮問に答える。

相談役は本会の会員で本会のため長年にわたり尽力した者の中から幹事会の推薦により幹事長が委嘱し、

任期は2年とする。

第21条 本会には職員および嘱託を置くことができる。

〈会 議〉

第22条 本会の会議は総会、代表者会、幹事会、例会とし、議長はいずれも幹事長がこれに当たる。

第23条 1. 総会は会員の代表者および例会出席者で構成する。

2. 総会は原則として毎年1回2月に開催する。なお必要に応じて臨時総会を開くことができる。

3. 下記の事項は総会において決議・承認する。予算、決算、会則の変更、会員の除名、幹事長、幹事並びに会計監事の承認。

第24条 1. 代表者会は会員を代表する者で構成し、やむを得ない場合はこれに準ずる者とする。

2. 代表者会は必要に応じ幹事長の招集で開くことができ、協会活動全般について理解と協力を得るために行う。

第25条 1. 幹事会は幹事長の招集によりこれを開催する。

2. 幹事会は幹事長を補佐し本会の運営上必要な各種事項について協議決定する。

3. その他本会の運営に必要なときは各種委員会、研究会等を設置することができる。委員の任命は幹事長が指名する。

第26条 1. 例会は会員の販売責任者で構成し、やむを得ない場合はこれに準ずる者とする。ただし、一

社複数の出席は妨げない。

2. 例会は原則として毎月1回開催し、会員相互の連絡、協議の場とする。必要に応じ総会決議事項以外の事項について決議することができる。

第27条 出席者の登録は所定の書式をもって行い、これの変更あるときは予め文書をもって提出する。

〈議 決〉

第28条 例会または総会において決議事項あるときは、会員の過半数以上の出席を要し、議事は出席者の過半数を以て決定する。

第29条 議決は1社1票とし、出席者が行使する票が賛否同数のときは幹事長が決裁する。

〈会 計〉

第30条 本会の経費は会費、入会金および事業に伴う収益金を以てこれに充当する。

第31条 本会の会計年度は毎年1月1日より同年12月31日とする。

〈付 則〉

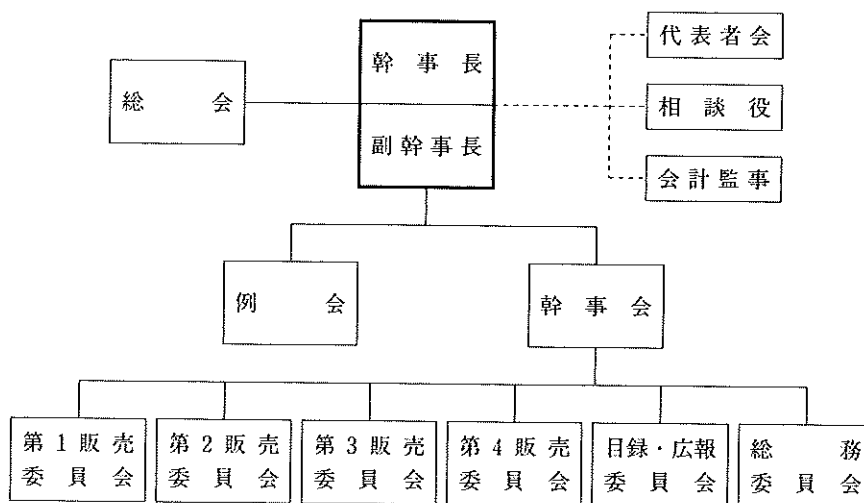
第32条 会員は退会または除名といえども本会の資産に対し、何らの請求権も有しない。

第33条 本会は会員4分の3以上の同意を得なければ解散することができない。

第34条 本会の解散に伴う残余財産は幹事会の議決を経て総会の承認を受けてこれを処分する。

第35条 本会則(改正)は平成8年11月18日からこれを施行する。

組 織 図



(1) 委員会には会員社全員がどこかに参加する。委員長は幹事が分担する。

工学書協会各委員会所属一覧(平成20年度)

幹事長：南條 光章(共立出版社長)

副幹事長：飯塚 尚彦(産業図書社長)

(兼)HP準備委員会委員長

- 委員会委員長
- ◎ 委員会副委員長
- 委員会委員

H20.12.10

会員社	役職	出席者	幹事	第一販売委員会	第二販売委員会	第三販売委員会	第四販売委員会	目録広報委員会	総務委員会	HP準備委員会
アグネ承風社	代表取締役社長	渡辺 武彦							○	
市ヶ谷出版	営業部長	堀口 寛		○						
井上書院	営業部長	渡辺 孝一	▲			●				
才一ム社	販売1部部長	櫛田 義則	▲	●						
海文堂出版	販売部	當山 臣人							○	
技報堂出版	編集部企画営業	伊藤 大樹		○						○
共立出版	営業部長	岩下 孝男	▲		●					
工学図書	代表取締役社長	笠原 隆				○				
工業調査会	販売部主任	高城 猷				○				
コロナ社	営業部	森岡 正晃						○		
三共出版	総合企画課	野口 昌敬						○		
産業図書	専務取締役	奈良 香治					○			
省エネルギーセンター	出版部長	山川 三世						○		
裳華房	代表取締役社長	吉野 和浩	▲	◎						○
昭晃堂	編集部	小林 孝雄						○		
彰国社	業務部部長	望月 達夫	▲					●		
実教出版	企画開発部第二課	小林 祥浩		○						
誠文堂新光社	営業局販売部	森 貴行			○					
東京大学出版会	販売部部長	吉田 健司				○				
東京電機大学出版局	業務課	石平 晋一郎			○					
日科技連出版社	営業部課長	真鍋 智哉			○					
日刊工業新聞社	販売・管理部	玉村 秀男	▲						●	
パワ一社	代表取締役社長	原田 守					○			
丸善出版事業部	営業部課長	二村 忠彰	▲				●			
森北出版	営業・宣伝マネジメント部長	遠藤 一良					○			○
理工図書	営業企画部長	山田 久男							○	

会計監事：渡辺 武彦(アグネ承風社社長)

会計監事：後藤 武(彰国社社長)

会員社紹介 (五十音順)

- 代表者名
- 工学書協会担当者名
- 社歴・特色・モットーなど
- 出版分野
- 主な出版物



株式会社 アグネ承風社

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 528
電話 03-3208-4011 FAX 03-3208-4029

- 代表者 渡邊 武彦
- 協会担当者 渡邊 武彦
- 社歴・特色・モットーなど 当社の社名は科学にエポックを作った4人の偉人、Aristoteles, Galileo, Newton, Einstein, この科学者の頭脳(イニシャル) AGNE (アグネ)をお借りした。1987年創立。金属系を主体とする材料科学関連の専門書の発行。専門書ながら幅広い読者層を対象に極力平易に解説する書籍の発行を旨とする。自然科学書主体に社会科学、人文科学との接点も積極的に求めている。
- 出版分野 工学、環境、情報、科学技術一般、経済、経営
- 主な出版物 X線回折要論、ゾルーゲル法の科学、ゾルーゲル法の応用、表面分析(上下)、電子顕微鏡 Q&A、表面分析 SIMS、金属の腐食損傷と防食技術、化学工学の基礎と実践、電子顕微鏡試料作製 Q&A、二酸化炭素問題ウソホント、固体酸化物燃料電池と地球環境



株式会社 市ヶ谷出版社

〒102-0076 東京都千代田区五番町 5
電話 03-3265-3711 FAX 03-3265-4008
URL <http://www.ichigayashuppan.co.jp>

- 代表者 宇野 修蔵
- 協会担当者 堀口 寛
- 社歴・特色・モットーなど 当社は、1949年(昭和24年)に実教出版株式会社の傍系会社として設立された。現在は建築・土木系の大学の教科書を中心に、実務書・資格試験書などを出版し、大取次経由で全国の書店で販売している。当社は、企画・編修の段階で、多くの時間を費やし、ていねいな本づくりを行っているので、新刊の点数としては少なめであるが、既刊本のメンテナンスにも力を注ぎ、堅実な出版社として多くの学校・読者に評価をいただいている。最近では、新しい時代のニーズに対応したものを重点的に出版している。
- 出版分野 建築・土木(大学教科書・資格試験書・実務書)
- 主な出版物 建築史、建築構法、建築計画、建築材料、初学者の建築講座シリーズ、建築学バイリンガルテキスト、建築工事の進め方シリーズ、受験用テキスト・問題集(2級建築士・管工事施工管理技士・建築施工管理技士) 土木構造力学、水理学、鉄筋コンクリート工学、土木応用力学、受験用テキスト・問題集(土木施工管理技士・測量士補・舗装施工管理技士)



株式会社 井上書院

〒113-0034 東京都文京区湯島2-17-15 齊藤ビル4F

電話 03-5689-5481 FAX 03-5689-5483

URL <http://www.inoueshoin.co.jp/>

■代表者 関谷 勉

■協会担当者 渡辺 孝一

■社歴・特色・モットーなど 昭和29年に創業以来、建築の実務に即した書籍を多数出版。昭和63年の『建築現場実用語辞典』を皮切りにスタートした辞典シリーズ、技術入門書として高い支持を得ている「マンガで学ぶ」シリーズや、初心者からベテラン技術者まで役立つ「建築[失敗]事例」シリーズ、建築現場での携帯に便利な手帳サイズの技術書「建築携帯ブック」シリーズ、など、つねに読者にとって最もわかりやすい建築技術書の発刊をモットーとしております。

■出版分野 住宅・建築全般、土木、インテリア、生活環境、他

■主な出版物 最新建築環境工学、建築物の仮設計算、井上建築関係法令集、木造建築の木取りと墨付け、図解・ツーバイフォー工法、建築失敗事例シリーズ、建築携帯ブックシリーズ、マンガで学ぶシリーズ、辞典、事典、資格試験問題集



株式会社 オーム社

〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1

電話 03-3233-0641 FAX 03-3233-3440

URL <http://www.ohmsha.co.jp>

■代表者 佐藤 政次 竹生 修己

■協会担当者 榎田 義則

■社歴・特色・モットーなど 1914年創業以来、科学技術関係の書籍・雑誌を発行。書籍は、教科書、技術専門書、学術専門書から一般書、実用書、資格試験書など多数発行。雑誌は、OHM・新電気・電気と工事・設備と管理・Medical Bio・ロボコンマガジンの月刊・隔月刊6誌、英文学術ジャーナルなど発行。また、海外有力出版社との共同出版、事業提携。わが国主要学協会との提携企画、発行書籍の発売、学会誌や主要メーカー誌の発売をおこなう。

■出版分野 電気電子・情報処理・建築土木・機械・環境科学・理学・生命科学・医学・看護学

■主な出版物 『現代電力技術便覧』『原子力ハンドブック』『アンテナ工学ハンドブック』『水素・燃料電池ハンドブック』『薄膜ハンドブック』、マンガでわかるシリーズ、放射線技術学シリーズ、絵ときでわかるシリーズ



海文堂出版 株式会社

〒112-0005 東京都文京区水道2-5-4

電話 03-3815-3292 FAX 03-3815-3953

URL <http://www.kaibundo.jp/>

■代表者 岡田 吉弘

■協会担当者 當山 臣人

■社歴・特色・モットーなど 大正3年創業以来、ながく航海、機関、造船を中心とする海事分野を対象に、工学、経済から読み物にまで及ぶ図書を刊行し貢献してきた。現在は、最近の一般、産業社会の大きな変貌にこたえるべく、情報関連書も発行し、さらに充実を図っている。海事工学分野は依然弊社の主流を占めているが、同時にマリンレジャーへの展開も実を結びつつある。

■出版分野 海事全般 情報関連

■主な出版物 海事法令集 海事六法 航海便覧 造船設計便覧
図説海上衝突予防法 図説海上交通安全法 図説港則法
Moodle 入門 データマイニング手法



技報堂出版 株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-2-5 和栗ハトヤビル

電話 03-5217-0885 FAX 03-5217-0886

URL <http://gihodobooks.jp/>

■代表者 長 滋彦

■協会担当者 伊藤 大樹

■社歴・特色・モットーなど 昭和51年に(株)技報堂の出版部門が分離独立して創立。学問と科学技術の進歩に寄与すべく、理工学書、自然科学書を中心に刊行してきた。なかでも土木用語大辞典、土木工学ハンドブック、微生物学辞典、建築用語辞典など、ハンドブック・辞典類は高い評価を頂いています。今後も技を報じる出版社として、技術立国日本の礎を支えるべく、時代のニーズに即した良書の出版に努めてまいります。

■出版分野 土木工学、建築学、化学・化学工業、生物学、栄養学、機械工学、環境、情報科学など

■主な出版物 土木用語大辞典、土木工学ハンドブック、建築基準法令集、シックハウス事典、わかりやすい鉄骨の構造設計、SCSS-H97 鉄骨構造標準接合部、英語論文表現例集、アルコールハンドブック、化学用語辞典



共立出版 株式会社

〒111-8700 東京都文京区小日向4-6-19

電話 03-3947-2511 FAX 03-3947-2539

URL <http://www.kyoritsu-pub.co.jp/>

■代表者 南條 光章

■協会担当者 岩下 孝男

■社歴・特色・モットーなど 当社は“自然科学書のリーディングカンパニー”を常に目指して歩み続ける出版企業です。そして、常に読者のニーズにお応えする出版企業です。

■出版分野 数学、物理学、化学、化学工業、地球科学、生物学、生物科学、情報・コンピュータ、機械工学、土木工学、建築学、電気・電子工学、経営工学

■主な出版物 共立講座 21世紀の数学、カッツ数学の歴史、標準機械設計図表便覧、プログラミング言語C、現場必携建築構造ポケットブック、(月刊誌)蛋白質核酸酵素



工学図書 株式会社

〒113-0021 東京都文京区本駒込1-25-32

電話 03-3946-8591 FAX 03-3946-8593

URL <http://www.kougakutosho.co.jp/>

■代表者 笠原 隆

■協会担当者 笠原 隆

■社歴・特色・モットーなど 本邦「工学書出版の大先覚者」である故倉橋藤治郎氏の薫陶を一身に受けた笠原洪平が昭和36年(1961年)2月に創業した中堅出版社。優れた工学書の刊行をめざし、微力ながらもわが国の学術・技術の向上と産業の発展に寄与すべく、努力を重ねている。小規模経営の取り柄とする小回りの利く出版活動で、日本の新たなモノづくりに資する新分野を開拓し、特色のある工学書、実践的な工学書の出版に取り組むたい。

■出版分野 情報工学、電気工学、電子工学、機械工学、工業化学、バイオ、建築

■主な出版物 熱交換器設計ハンドブック、界面活性剤ハンドブック、機械製図-理論と実際、機械材料工学、光通信素子工学、論理回路の基礎、コンピュータ設計概論、アセンブラ言語 CASL II、図面の見方・描き方、「特許調査」の基礎と応用、環境とバイオ



株式会社 工業調査会

〒113-8466 東京都文京区向丘1-13-1 KRDビル

電話 03-3817-4706 FAX 03-3817-4709

URL <http://www.kocho-net.com/>

■代表者 新谷 滋記

■協会担当者 高城 献

■社歴・特色・モットーなど 当社は戦後間もなくの1953年、研究と現場の架け橋、理論と実際を結ぶ動脈となるような雑誌・書籍づくりを目指して発足しました。月刊技術雑誌5誌を相次いで発刊し、それぞれの技術分野でリーディング・マガジンの地位を確立しています。書籍の出版活動はこれを基盤にして積極的に展開、現場志向の実用書から先端技術領域に踏み込んだ解説書、啓蒙書に至るまで幅広くカバーしています。

■出版分野 電気・電子、機械、化学工業、環境・エネルギー、建築・土木、情報・経営工学など

■主な出版物 「図解半導体ウェットプロセス最前線」、「カーボン・オフセット」、「ナノ有機エレクトロニクス」、「EU新化学品規則 REACHがわかる本」など。他に月刊技術雑誌「プラスチック」、「機械と工具」、「化学装置」、「電子材料」、「M&E」。



株式会社 コロナ社

〒112-0011 東京都文京区千石4-46-10

電話 03-3941-3131 FAX 03-3941-3137

URL <http://www.coronasha.co.jp>

■代表者 牛来 辰巳

■協会担当者 森岡 正晃

■社歴・特色・モットーなど コロナ社は昭和2年に、牛来丈助によって創立され、主として電気工学系の書籍および海外名著の翻訳出版から発足しました。社名のコロナは、太陽の周縁から放射される“コロナ”現象から採ったもので、電気工学研究の精華を顕さんとしたものです。

その後、社会の進展・多様化に伴い、電気工学のみならず電子・情報工学および機械、土木、建築、バイオテクノロジー、医用工学など、工学のあらゆる部門に進出しました。

■出版分野 電気電子、情報、機械、計測・制御、土木、環境、生命、理学、数学、医用工学

■主な出版物 制御工学ハンドブック、電気鉄道ハンドブック、電子情報通信レクチャーシリーズ、電気・電子系教科書シリーズ、機械系教科書シリーズ、環境・都市システム系教科書シリーズ、再生医療の基礎シリーズ、地球環境のための技術としくみシリーズ



三共出版 株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2

電話 03-3264-5711 FAX 03-3265-5149

URL <http://www.sankyoshuppan.co.jp>

■代表者 秀島 功

■協会担当者 野口 昌敬

■社歴・特色・モットーなど 昭和22年の創業以来、化学関連の書籍を専門に刊行。近年は科学技術の進歩とともに材料科学や、社会問題化している環境関連の書籍も積極的に手掛けている。更にはバイオ・生命科学系の出版にも注力している。

これらの出版活動を通して文化の発展向上に寄与したいと考えている。

■出版分野 化学・環境・辞典・生命科学・生活科学・科学一般等

■主な出版物 無機材料必須300、金属錯体の光化学、糖鎖科学への招待、有機機能性材化学、分子認識と超分子、アクティブ科学英語、新生物化学工学、環境ここがポイント、地球の環境と化学物質、初歩からの生物学、生活習慣病の分子生物学他

産業図書 株式会社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-11-3

電話 03-3261-7821 FAX 03-3239-2178

URL <http://www.san-to.co.jp>

■代表者 飯塚 尚彦

■協会担当者 奈良 香治

■社歴・特色・モットーなど 倉橋藤治郎が工政会出版部を発足させ、昭和10年に工業図書株式会社に発展させた。昭和19年、第二次世界大戦の企業整備令により、17社を統合して産業図書株式会社と改めた。創業以来、理工学書を中心に出版を手がけてきたが、現在は人文・社会科学を含めた幅広い学術書の出版活動を展開している。

■出版分野 人文科学、社会科学、科学一般、理学、工学など

■主な出版物 流れとよどみ、論理トレーニング、生命倫理学入門、グッド・ルッキング、実体への旅、ジハード、倫理と法、ビクトリア時代のアマチュア天文家、神経発生生物学、複雑ネットワークの科学、エンジン、半導体デバイス、工学/技術者の倫理

財団法人 省エネルギーセンター

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-19-9 ジオ八丁堀

電話 03-5543-3015 FAX 03-5543-4120

URL <http://www.eccj.or.jp/book/>

■代表者 奥村 和夫

■協会担当者 山川 三世

■社歴・特色・モットーなど 1978年に設立。前身である(社)日本熱エネルギー技術協会時代より月刊「熱管理」を発行。現在、「省エネルギー」と名称変更し、2008年で創刊60周年を迎える。国家資格である「エネルギー管理士」受験者向けの基本参考書をはじめ、全7巻の課目別講座、模範解答集、直前対策を発行。世界に誇る日本の省エネ技術、現場生産技術を根底で支えるエネルギー管理技術に関する各種書籍を手がける。エネルギー・環境関連書籍も好評を博している。

■出版分野 エネルギー管理士受験参考書、電気管理、熱管理、省エネ法関連、環境関連教養書
■主な出版物 エネルギー管理士試験講座、熱計算入門、やさしい熱計算演習、工業炉ハンドブック、熱交換器ハンドブック、ビル・建築物の省エネルギー、すぐに役立つ電気の省エネ、現場で使うインバータ、エネルギー・経済統計要覧、ESCO導入ガイド

株式会社 裳華房

〒102-0081 東京都千代田区四番町 8-1

電話 03-3262-9167 FAX 03-3262-9130

URL <http://www.shokabo.co.jp/>

■代表者 吉野 和浩

■協会担当者 吉野 和浩

■社歴・特色・モットーなど 享保年間(1716~1735)頃、仙台で「仙台書林 裳華房」として創業し、明治28年に日本橋に上京し、昭和2年に現在の地に移る。当時は、算術・暦・気象・農学などを出版。その後、大正に入り科学の発達を予見し、基礎科学の出版に注力し、数学、物理学、化学、生物学、工学の自然科学の専門書、理工系教科書・参考書を出版するようになる。今後も理工学系大学の学生・研究者の一助となる教科書・専門書・参考書を刊行して参る所存です。

■出版分野 数学、物理学、化学、生物学、工学の専門書・教科書・参考書・啓蒙書

■主な出版物 微分積分、線形代数、物理学、物理入門、裳華房テキストシリーズ-物理学、生物科学入門、バイオダイバーシティ・シリーズ、一般化学、化学サポートシリーズ、先端材料シリーズ、ポピュラー・サイエンスシリーズ



株式会社 昭晃堂

〒162-0805 東京都新宿区矢来町 48
 電話 03-3269-3449 FAX 03-3269-1611
 URL <http://www.shoko-do.co.jp/>

■代表者 阿井 國昭

■協会担当者 小林 孝雄

■社歴・特色・モットーなど 創立と同時に「地形図の研究」を刊行、秩父宮殿下賜台覧に浴した。以降「工業分析法」、「符号理論」等の名著を次々と世に送り出してきた。一方、工業高校副読本として、工学全般にわたる演習書は一世を風靡した。現在はインターネット時代の技術革新、複雑多様化する学術専門書・大学教科書等のニーズにお応えできるよう、理工系のアカデミックな出版活動を通して学問・科学技術の進歩発展、普及に寄与する事を出版理念としている。

■出版分野 電気、電子、情報科学、化学、建築、AI、バイオ、環境等専門書・大学教科書

■主な出版物 コンピュータ基礎講座 19 巻、電子回路講座 6 巻、人工知能シリーズ 10 巻、ソフトウェア講座 45 巻、電子・情報・通信カリキュラムシリーズ 58 巻、デジタル信号処理シリーズ 15 巻、新化学教科書シリーズ 12 巻、情報系教科書シリーズ 22 巻



株式会社 彰国社

〒160-0002 東京都新宿区坂町 25
 電話 03-3359-3231 (大代表) FAX 03-3357-3961
 URL <http://www.shokokusha.co.jp/>

■代表者 後藤 武

■協会担当者 望月 達夫

■社歴・特色・モットーなど 1932 (昭和 7) 年下出源七により創立、1965 (昭和 40) 年株式会社に改組した。戦前は国宝などの文化財建造物関係図書を出版。戦後は現代建築の分野に企画を拡大し、今日まで雑誌 3 誌の発刊をはじめ、全集・叢書や辞事典類などの重要書籍を含め 3,000 点に及ぶ出版物を刊行、多数の建築家や研究者、技術者を育み、国内外の建築界の進歩発展に寄与した。現在は建築・土木に隣接する関連領域への拡充を図りながら鋭意出版活動を続けている。

■出版分野 理・工 (建築、土木図書専門)

■主な出版物 建築大辞典 (第 2 版)、新建築学大系 (全 50 巻)、土木工学大系 (全 35 巻)、建築文化シナジー、エスキスシリーズ、建築ディテール集成、建築ヴィジュアル辞典、建築の絵本、折り紙建築 ほか
 季刊 (ディテール)



実教出版 株式会社

〒102-8377 東京都千代田区五番町 5
 電話 03-3238-7766 FAX 03-3238-7770
 URL <http://www.jikkyo.co.jp/>

■代表者 島根 正幸

■協会担当者 小林 祥浩

■社歴・特色・モットーなど 小社は、1941 (昭和 16) 年の創立以来、高等学校教科書・教材を柱とし、教育現場において極めて重要な使命を担ってきました。大学・短期大学・専門学校向けの専門図書もその出版理念は、科学や技術・技法の基礎を広めるものを中心とし、現代的な知性と感性を養うことに資するような出版物の創造にあります。長年にわたり培われたノウハウをもとに学習効果の高い出版物の企画・刊行をしております。

■出版分野 高等学校検定教科書全般、理工学図書、情報図書、環境図書、社会科学図書

■主な出版物 精説機械製図、電気・電子製図、建築製図、大学基礎機械材料、機構学、電気工学概論、機械要素設計、システム制御理論入門、入門 ANSI-C、基本統計学、J 検テキスト、基礎シリーズ、専門基礎ライブラリー



株式会社 誠文堂新光社

〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-11
電話 03-5800-5780 FAX 03-5800-5781
URL <http://www.seibundo-shinkosha.net/>

■代表者 小川 雄一

■協会担当者 森 貴行

■社歴・特色・モットーなど 明治45年(1912年)創業。単行本で基礎を築いた後、雑誌「子供の科学」「無線と実験」などを創刊。小中学生を対象としたものからマニア向けのものまで、専門分野から趣味・実用、年鑑ものまで幅広い多岐にわたる分野を形成し、斯界に独特な地位を占めている。それぞれ専門分野での普及的出版をモットーに、時代のニーズに応えるべく着実な出版活動を展開している。

■出版分野 理工学、自然科学、人文・社会科学、農園芸、デザイン、趣味・実用など

■主な出版物 「無線と実験」、「子供の科学」、「農耕と園芸」、「囲碁」、「愛犬の友」、「アイデア」、「月刊天文ガイド」、「フローリスト」、「陶工房」、「デザインノート」



東京大学出版会

〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1 東大構内
電話 03-3811-8814 FAX 03-3812-6958
URL <http://www.utp.or.jp>

■代表者(理事長) 岡本 和夫 (専務理事) 山口 雅己

■協会担当者 吉田 健司

■社歴・特色・モットーなど 創立:1951年3月1日。組織:財団法人。「大学に於ける研究とその成果の発表を助成するとともに、広く一般書、学術書の刊行により学問の普及、学術の振興を図る」(「設立趣意書」より)ことを目的とする。近年の学問分野の多様化、大学組織の変化に対応した、理工系、人文・社会系を問わない学問横断的な出版物や、新しい学問領域の創出に関わるプロジェクトにも、積極的に取り組んでいる。

■出版分野 数学・物理・化学・地学・宇宙科学・工学・情報科学・生物 人文・社会科学全般

■主な出版物 新編画像解析ハンドブック、新編色彩科学ハンドブック[第2版]、色彩用語事典、日本の地形(全7巻)、活断層詳細デジタルマップ、地震予知の科学、都市保全計画、安藤忠雄・建築を語る、シリーズ脳科学(全6巻)、死生学(全5巻)



東京電機大学出版局

〒101-8457 東京都千代田区神田錦町2-2
電話 03-5280-3433 FAX 03-5280-3563
URL <http://www.tdupress.jp/>

■代表者 植村 八潮

■協会担当者 石平 晋一郎

■社歴・特色・モットーなど 小局は明治40年、私立電機学校創立と同時に誕生した。以来、理工系学術書・コンピュータ書・教科書・啓蒙書を中心に刊行、既刊1,500余点の発行点数を数えている。最近は、紙の本と並んで電子の本にも力を入れ、コンテンツの電子化や著作権処理など電子出版が抱える問題に積極的に取り組んでいる。これからも出版活動を通して、科学技術の発展、大学教育と大学出版のあり方、書籍出版の将来などについて、社会に問うていきたい。

■出版分野 工学、理学、情報、科学一般、資格試験、文部科学省検定済教科書(工業)ほか

■主な出版物 理工学講座、計算法シリーズ(電気・機械・化学)、初めて学ぶ/たのしくできる/学生のためのシリーズ、資格試験(電気主任技術者・電気工事士・無線技術士・陸上特殊無線技士・情報処理)、画像電子情報ハンドブック

日科技連出版社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-4-2

電話 03-5379-1239 FAX 03-3356-3419

URL <http://www.juse-p.co.jp/>

■代表者 田中 健

■協会担当者 真鍋 智哉

■社歴・特色・モットーなど 弊社は、1955年6月に創立されて以来、品質管理、信頼性工学、統計学をはじめとする数学、ソフトウェア工学、情報システム工学等の専門書、技術書、啓蒙書の出版社として経営工学の普及に努めてきました。近年は、さらに時代の要請に沿ってISO関連図書(9000、14000、22000、27000)等の分野にも注力し、出版分野を拡大しています。

■出版分野 品質管理、信頼性工学、数学・統計、ISO 他

■主な出版物 TQMの基本、職場ですぐに使えるQCサークルの知っ得基本、QCサークルリーダーのためのレベル把握ガイドブック、QC検定集中対策シリーズ、すぐできるISO9000ファミリーシリーズ、ISO14000審査登録シリーズ、数学—はなしシリーズ、月刊QCサークル誌、月刊クオリティマネジメント誌

株式会社 日刊工業新聞社

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町 14-1

電話 03-5644-7410 FAX 03-5644-7400

URL <http://www.nikkan.co.jp/pub>

■代表者 千野 俊猛 (執行役員出版局長) 渡部 明浩

■協会担当者 玉村 秀男

■社歴・特色・モットーなど 出版部門は1931年の「全国工場通覧」の発行をスタートとし、1953年に月刊技術雑誌「機械技術」「マテリアル」(現「工業材料」)の創刊で本格的に出版活動に入る。現在では「日刊工業新聞」の読者層をターゲットに、月刊技術雑誌8誌を発行するとともに、工学系の専門書からビジネス書まで幅広いジャンルを揃えた新刊を年間170点前後提供している。

■出版分野 機械、金属、電気・電子、化学、生産管理、コンピュータ、経営、ビジネス

■主な出版物 図面って、どない描くねん! / トコトンやさしい太陽電池の本 / プラント配管ポケットブック / めっちゃ使える! 機械便利帳 / 日本低酸素社会のシナリオ

■定期刊行物 プレス技術、機械設計、電子技術、工業材料、型技術、工場管理、ISO マネジメント、機械技術、eX MOOK

■営業担当者 玉村 秀男、山野辺 洋一、関根 修、阿久根 大

株式会社 パワー社

〒171-0051 東京都豊島区长崎 3-29-2

電話 03-3972-6811 FAX 03-3972-6835

URL <http://www.powersha.co.jp/>

■代表者 原出 守

■協会担当者 原田 守

■社歴・特色・モットーなど 小社の創立は、1920年(大正9年)神戸市元町にて創業。その後(大正12年)故・清家正先生の主唱により、電気・機械関係の出版を始める。特に製図関係に力を入れ、「製図論」は当時としては、空前の売れ行きを示した。1940年(昭和15年)東京・神田に本店を移し、機械関係を主に活動を始めるが、戦争で東京・神戸共に焼失し、戦後の再建には大変な時間がかかった。現在は、自然エネルギーを主体として活動している。

■出版分野 自然エネルギー・環境70%、機械工学関係20%、その他10%

■主な出版物 サイエンスシリーズ(自然エネルギー)30点、ホテルのふやし方写し方・雨水利用システム・マイクロ風力発電に挑戦・垂直軸風車・超小型水力発電装置・太陽電池・基礎製図演習(1)(2)(3)



丸善 株式会社 出版事業部

〒103-8244 東京都中央区日本橋3-9-2 第二丸善ビル6階
電話 03-3272-0521 FAX 03-3272-0693

URL <http://pub.maruzen.co.jp/>

■代表者 小城 武彦 (執行役員出版事業部長) 吉田 明彦

■協会担当者 二村 忠彰

■社歴・特色・モットーなど 明治2年(1869年)に、わが国の文化の発展、貿易の振興に貢献することを創業の精神に掲げスタート。出版部門も創立とほぼ同時に設立。自然科学および工学分野におけるわが国を代表する学・協会の編纂になる便覧・ハンドブックをはじめ、学術書、大学教育における標準的なテキスト、データブック、図鑑などを刊行。近年、Web閲覧サイトや、ビデオ、DVDなどの映像メディア商品に力を注ぎ、企画開発事業とともに新たな開拓を目指し、活発な展開を行っています。

■出版分野 工学(工業化学、化学工学、土木、建築、機械、金属・材料、電子・通信・電気)理学(数学、化学、物理、環境)、医学、経営・経済、倫理・哲学、語学など

■主な出版物 理科年表、化学便覧、実験化学講座、化学工学便覧、建築設計資料集成、土木設計便覧、機械設計便覧、金属便覧、百科事典シリーズ、生命倫理百科事典など
Web閲覧:(eコンテンツ「理科年表プレミアム」「化学書資料館」)
月刊雑誌:「パリテイ」(物理)
DVDビデオ:BBC映像ライブラリー、学級担任のためのカウンセリングとその実践全10巻、研修医のための基本技能全25巻他多数



森北出版 株式会社

〒102-0071 東京都千代田区富士見1-4-11

電話 03-3265-8341 FAX 03-3264-8709

URL <http://www.morikita.co.jp>

■代表者 森北 博巳

■協会担当者 遠藤 一良

■社歴・特色・モットーなど 1933年、東京・神田神保町で書籍取次・丸井書店として創立。1940年より書籍を発行、出版社として業務を開始。1943年、出版社5社と合併、富士出版(株)発足。1950年、森北出版(株)に改組。理工学系分野に特化した専門出版社。大学生が理解できるものから専門家向けの実務書まで幅広いレンジの書籍を出版する。現在2,000点を超える理工学系専門書を発行し、新分野の出版にも積極的に取り組んでいる。

■出版分野 工学、情報、理学、環境、科学技術一般、経営、語学、宗教など

■主な出版物 新編 高専の数学、新編 JIS 機械製図、図解 SolidWorks 実習、R によるデータサイエンス、フリーソフトでつくる音声認識システム、ビジュアルアプローチ 力学、鋼・コンクリート複合構造、電気エネルギー工学、建築設備手帖、失敗百選



理工図書 株式会社

〒102-0082 東京都千代田区一番町27-2 理工図書ビル4F

電話 03-3230-0221 FAX 03-3262-8247

URL <http://www.rikohtosho.co.jp/>

■代表者 柴山 斐呂子

■協会担当者 山田 久男

■社歴・特色・モットーなど 1899年に「鉄道時報局」を創業。1922年に鉄道時報局内に「シビル社」を設立し月刊土木建築雑誌刊行、これが1946年に復刊して現在の「土木技術」となる。その後1944年に企業整備局により、数社を買収し社名を「株式会社鉄道時報局」から「理工図書株式会社」と改めた。良い書籍を作り世の中の役に立ちたいという経営方針の下に建築、土木を中心に出版、最近では機械、電気、物理、化学、数学その他一般読者向けの本も出版している。

■出版分野 建築、土木、機械、電気、物理、化学、数学、生物学、農学、一般教養、他

■主な出版物 土質力学、新・ボーリング図を読む、続・擁壁の設計法と計算例、目からウロコの確認申請、建築計画を学ぶ、建築・都市の環境管理事典、趣味で物理学、趣味で相対論、家作りの問答集、食の安心安全信頼回復の道しるべ、認知症とたたかう脳

工学書協会 60 年史編纂委員会

(50 年史追録版)

委員 渡辺 孝一 (井上書院)

望月 達夫 (彰国社)

玉村 秀男 (日刊工業新聞社)

編集協力 高橋 朋彦 (編集工房トモリーオ)

吉野 克彦 (夢の本棚社)

工学書協会 60 年史

(50 年史追録版)

(非売品)

印刷 2009 年 2 月 20 日 © 2009 工学書協会

発行 2009 年 2 月 25 日

編集 工学書協会 60 年史編纂委員会

発行 工学書協会

〒 112-0006

東京都文京区小日向 4-6-19

共立会館 8 階

電話 03 (3943) 4626

FAX 03 (3943) 4470

印刷 社光舎印刷株式会社